

令和3年度
介護のしごと
魅力発信等事業
ターゲット別魅力発信事業
アクティブシニア層向け
成果報告書

2022年4月28日朝日新聞社

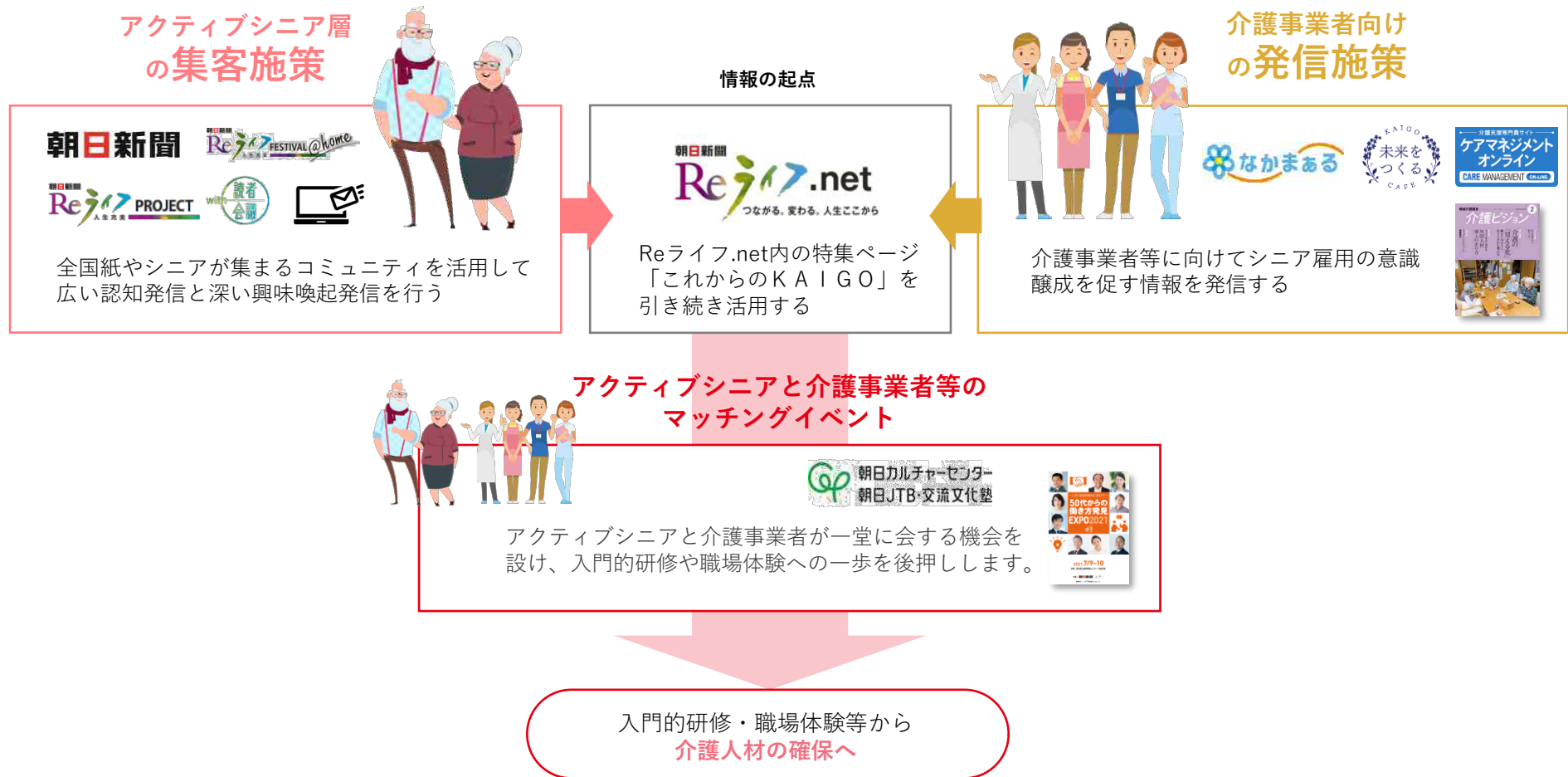


事業全体の経過

事業全体の経過

事業概要

高齢化により人口構造は変化し、若者が高齢者を支える従来の社会から、元気高齢者が支え手に回る社会への展開が求められる状況となっています。本事業では、「周辺業務」という業務区別の概念の提示や、福祉・介護の仕事の魅力を発信することで、アクティブシニア層の福祉・介護分野への関心を高め、主に「介護助手」等としての参入を促します。同時に、シニア雇用を促進するために、介護事業者への働きかけを行います。



効果的な広報戦略の企画

1. 企画委員会の設置

事業の企画内容を検討するための企画委員会を下記のとおり実施しました。

事業者団体・職能団体	介護事業者・実践者	有識者			
 太田二郎氏 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護人材対策委員長	 石本淳也氏 一般社団法人熊本県介護福祉士会会長	 福原 聡一郎氏 社会福祉法人江寿会アゼリーアネットワーク施設長	 高瀬比左子氏 特定非営利活動法人未来をつくるkaigoカフェ代表	 川邊万希子氏 株式会社三菱総研所 ヘルスケア・ウェルネス事業本部主任研究院員	 町亜聖氏 フリーアナウンサー ジャーナリスト

第1回

開催日時	令和3年7月15日（木）13時30分～15時00分
出席者	（委員）石本委員、太田委員、川邊委員、高瀬委員、福原委員、町委員 （オブザーバー）厚生労働省 鈴木様、森田様、PwCコンサルティング古屋様、初見様、一二三様 （事務局）朝日新聞社 神出、平澤、安富、田中
議題	事業計画の説明、事業進捗の報告、ロゴ・キャッチコピーについて、輝きポートレートの募集要項等について
主なコメント	<ul style="list-style-type: none">● メールマガジンは双方向で繋がれるような工夫やシリーズ連載など、工夫が必要ではないか。アクティブシニアの活躍の場である施設情報、業界情報を紹介していくコーナーがあると良い。● ロゴはこれまでの介護とは違う印象を伝えていくために「これからの」を強調させた方が良い。白黒でも識別できるデザインとすること。● 輝きポートレート事業はパソコンに不慣れな方もいらっしゃるのので郵送受け付けをすること。応募のハードルを高くしすぎないように、自薦他薦問わず、仕事への思いが伝わるものであれば良いので、文章の出来は問わないという注釈を入れてはどうか。

効果的な広報戦略の企画

第2回

開催日時	令和3年10月25日（月）15時00分～16時30分
出席者	（委員）石本委員、太田委員、川邊委員、高瀬委員、福原委員、町委員 （オブザーバー）厚生労働省 藤野様、水津様、PwCコンサルティング 一二三様、初見様 （事務局）朝日新聞社 神出、平澤、池尻、安富、田中
議題	事業進捗の報告、輝きポートレートの審査方法について、動画制作にかかる発信内容について
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護現場で働くシニアの輝きポートレートについては、写真だけでなく文面（コラム）も付けたことで「仕事のやりがい」が分かりやすく伝わるようになってきていると感じる。 ● 介護現場で働くシニアの輝きポートレートの公募については、メディア発信、プレスリリース、事業者の巻き込みなどやれることはすべてやっているという印象がある。ただ応募したいというインセンティブが少し弱いという印象。 ● 介護事業者向け発信のコンテンツについてはぜひ実際の現場の方に知ってもらいたいというような内容であり、事業者団体などを通じて発信をしてほしい。

第3回

開催日時	令和4年3月30日（水）13時00分～14時30分
出席者	（委員）川邊委員、高瀬委員、田中委員、馬場委員、町委員 （オブザーバー）厚生労働省 水津様、PwCコンサルティング 一二三様、初見様 （事務局）朝日新聞社 神出、平澤、安富、田中、岩崎
議題	事業成果の報告、意見交換
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● マスメディアの得意分野、使えるアイテム・コンテンツをフル活用して多方面にアプローチしている印象。今後はシルバー人材センターの活用も視野に入れてほしい。 ● 制作したツールは社会福祉協議会、介護労働安定センター、事業者団体、職能団体に活用してもらおうと良い。 ● 介護助手に関して、最近できた仕組みとして広がっていくのは正しくない。地域ボランティアの受入は長年行われており、地域の方々や今まで参画してきた方がピンとくるような広報のやり方を模索するべき。 ● 入り口整備は進んできている印象。今後は入職したシニアにいかに継続して働いてもらうかが課題。教育、健康配慮、健康経営などの視点が必要ではないか。 ● 働き始めた方が辞めないようにするには、体力的に無理そうな方がいればタイミングよく介入して離職をふせぐなど事業者側の細やかな対応が必要。今後もアクティブシニアと介護事業者の両方への働きかけが必要。

効果的な広報戦略の企画

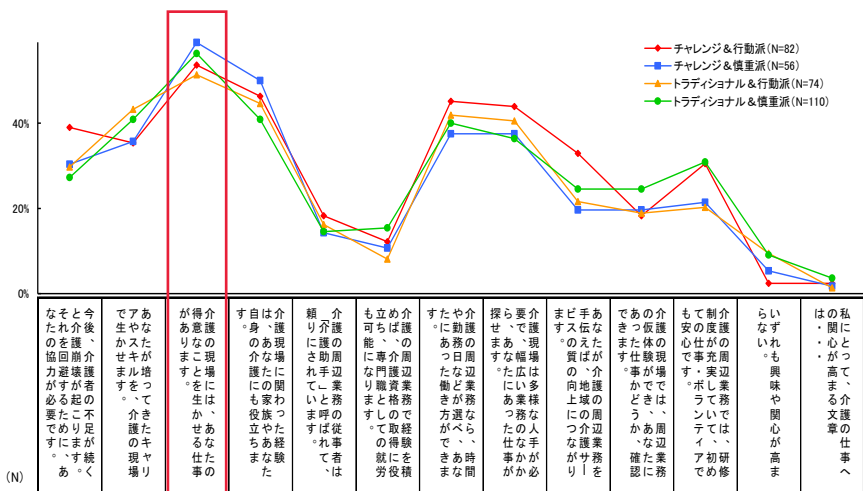
2. プロジェクトロゴ・キャッチコピーの検討

令和2年度事業の調査結果をもとに、介護の仕事への興味関心が高まるプロジェクトロゴとキャッチコピーを作成し、年間を通じて露出を行いました。

プロジェクトロゴ・コピー

「自分にできる」がきっと見つかる

これからのKAIGO



(N)	なそれと今 あなたを重 協同介護 力避が者 の要たこ足 がすなが るためり にまが ず、す続 あ、く	でアな 生がや がせスキル ます。介 護のキ 現場リ	が得介 意のあ りな現 まこと場 をををに 生か、あ せるな した事	す自は介 身のあ の現介 護のな 場に関 たに も家わ 役族つ 立ちた ちあ経 まな候	頼「介 護の周 りにさ れてい ます。呼 ばれ者 は、	も立め介 可ばは、 能の、 に事介 業なり護 まと業 務すし ので取 得の得 就にを を労役積	すたや に動の あの の周 辺な たが務 働と務 がな がなら が、あ きあ時 まな間	探ら要介 せで護 まな現 ずな場 にあは に多 つた たの 事人 が必 が必	まビ手あ すで伝 のすえ の向た 上の周 に介 の介 が務 が務 を	であの介 まっ保護 ず仕体 事任場 は、 かど ど、 か周 か、 確あ 認業 に務	もて制介 安の度護 心仕が がの周 で事充辺 ラ務業 ンラ ンテ、 イ、 ア初 研研 でめ修	らいな いずれ も興 味や 関心 が高 ま	はの私 ・関に ・心と ・がっ ・が高 ・ま ・る介 ・る護 ・るの ・る仕事 ・へ	
チャレンジ&行動派	82	39.0	35.4	53.7	46.3	18.3	12.2	45.1	43.9	32.9	18.3	30.5	2.4	2.4
チャレンジ&慎重派	56	30.4	35.7	58.9	50.0	14.3	10.7	37.5	37.5	19.6	19.6	21.4	5.4	1.8
トラディショナル&行動派	74	29.7	43.2	51.4	44.6	16.2	8.1	41.9	40.5	21.6	18.9	20.3	9.5	1.4
トラディショナル&慎重派	110	27.3	40.9	56.4	40.9	14.5	15.5	40.0	36.4	24.5	24.5	30.9	9.1	3.6

■:1位 ■:2位 ■:3~5位 (N=30以上)

(参考)
令和2年度事業にてReライフ読者会議メンバー322人に介護の仕事に対する意識調査を実施。介護の仕事への興味や関心が高まる文章について選択式で尋ねたところ、最も支持されたのは「**介護の現場にはあなたの得意なことを生かせる仕事があります**」でした。この言葉をもとに第1回企画委員会にてロゴ・コピーを検討し、上記に決定いたしました。

アクティブシニアへの広報

1. Reライフフェスティバル@home（令和3年秋・令和4年春）出展

介護の仕事に対するイメージの向上や興味関心を高めるために、朝日新聞社が運営する大規模アクティブシニア組織・Reライフプロジェクトが春と秋に開催するオンラインイベント「Reライフフェスティバル」に出展し、介護の仕事の魅力を訴求しました。

<第1回>

名称 : Reライフフェスティバル@home 2021・秋

配信日 : 2021年9月18日（土）～9月19日（日）

2021年9月20日（月）～12月19日（日）【アーカイブ配信】※YouTubeでも広告配信を実施

視聴方法 : 朝日新聞ReライフFESTIVAL特設サイト

テーマ : 健康から考える～セカンドキャリアとこれからの介護～

出演者 : 麻木久仁子さん、町亞聖さん

概要 : 自身やご家族の闘病を経験された麻木久仁子さんに、医療や介護をテーマに活動する町亞聖さんがお話を伺いました。介護福祉士の弟から学んだこと、50代を過ぎてからセカンドキャリアのために始めた薬膳の勉強、自分の得意を介護現場に生かすことについて、語っていただきました。

再生回数 : **4,500回**

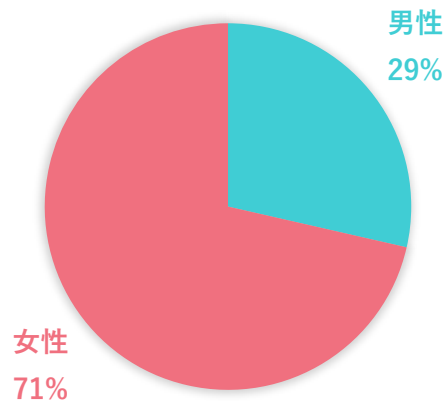
YouTube広告再生回数 : **193,610回** ※2022年3月31日時点



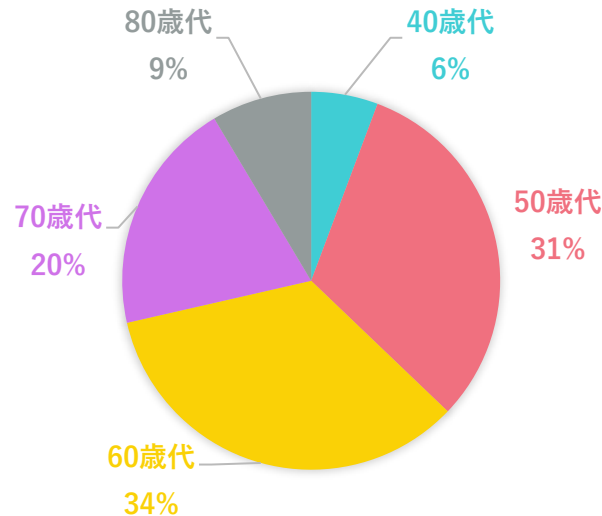
アクティブシニアへの広報

Reライフフェスティバル@home2021・秋 (第1回) アンケート結果 (n=35)

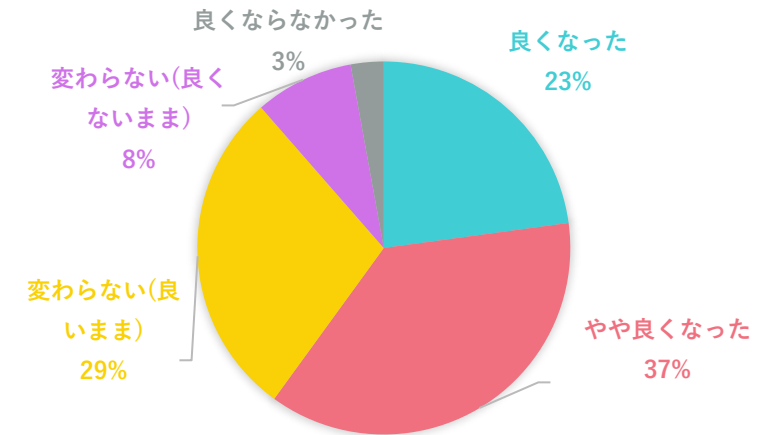
性別



年代



本プログラムを視聴して介護のしごとに対するイメージに変化はありましたか



良くなった+やや良くなった 計60%

アンケート感想抜粋

- 高齢になってもまだまだ元気であることができれば、まわりの家族だけでなくみんなの役に立つことができることがいっぱいあることが分かった。される側ではなく、する側で年齢を重ねて支援していきたいと思う (50代男性)
- 介護の現場がメディアなどで取り上げられる際は、ネガティブな視点・テーマになりがちです。課題が多いのは理解していますが、実際の介護現場を知る機会は殆どなく、自分の家族や自分自身が関わることになって初めて知ることばかりのような気がしていました。本日の麻木さんのお話をお聞きして、周辺業務というものがあり、これは資格を持たなくてもできると知りました。地域の介護施設やご自宅で介護を必要とされている方への支援という形で自助のしくみを作っていくのは、これからの社会に必要なことだと強く思いました。(50代女性)
- 周辺業務はといえばボランティア活動に通じていると感じた。この精神は介護の分野に限らず、福祉や相談活動、広くNPOなどの支援活動においても、身近な社会生活の共助にも生かせると思った。(60代女性)

アクティブシニアへの広報

<第2回>

名称 : Reライフフェスティバル@home 2022・春

配信日 : 2022年3月12日(土)

2022年3月13日(日)~3月31日(木) 【アーカイブ配信】※YouTubeでも広告配信を実施

視聴方法 : 朝日新聞ReライフFESTIVAL特設サイト

テーマ : テクノロジーで変わる介護の世界

出演者 : いとうまい子さん(俳優・タレント)

片岡眞一郎さん(SOMPOホールディングス株式会社 Future Care Lab in Japan 所長)

町亞聖さん(フリーアナウンサー)

概要 : テクノロジーで変わる介護の世界を最新のロボット工学・デジタル技術の見地から紹介します。

セカンドキャリアとして大学院で介護予防ロボットを研究する俳優・いとうまい子さん、

介護・福祉に関わるテクノロジーの開発・研究センター「Future Care Lab in Japan」の所長・片岡眞一郎さん、

医療と介護を生涯のテーマに取材、啓発活動続けるフリーアナウンサー・町亞聖さんが出演します。

テクノロジーが介護の世界で果たす役割と、人間に期待される役割を、それぞれの経験を交えながらお話しいたします。

再生回数 : **4,283回**

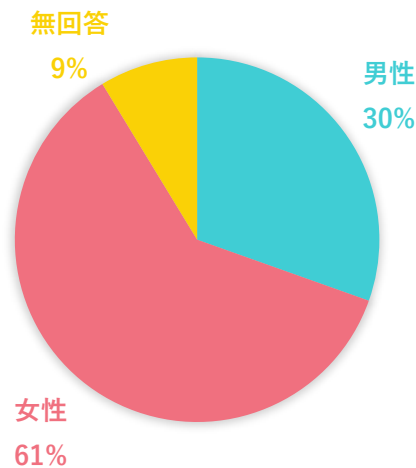
YouTube広告再生回数 : **108,908回** ※2022年3月31日時点



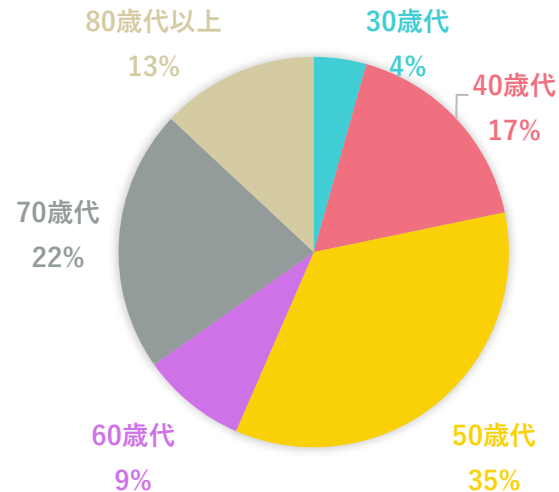
アクティブシニアへの広報

Reライフフェスティバル@home2022・春 (第2回) アンケート結果 (n=23)

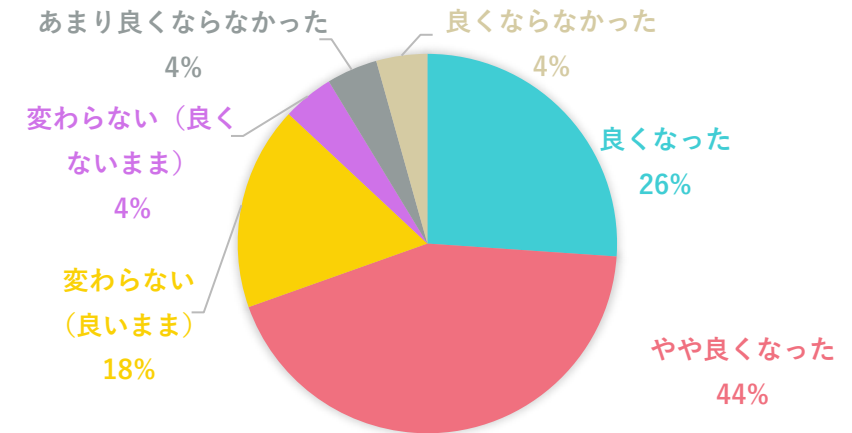
性別



年代



本プログラムを視聴して介護のしごとに対するイメージに変化はありましたか



良くなった+やや良くなった 計70%

アンケート感想抜粋

- スピーカーの方々のいきいきと介護現場、可能性のお話をされる様子を見ていて、希望と元気をいただきました。介護は今まできちんと評価されてこなかった分野だと思います。介護職の方々自身も、いろいろな力をつけていってくださると、介護現場もよりよくなると思います。マスコミの方々にもよい事例について、積極的に発信して欲しいです。(40代女性)
- マッチングアプリのスクーターは、専門職の人は専門性を生かした仕事をし、周辺業務は専門職でなくても出来る人がするというのはいいことだと思いました。今後は施設での生活もですが、地域でずっと暮らしていく人も増えてくると思うので、地域でも助け合い、誰もが暮らしやすい仕組みが出来るといいと思いました。(50代女性)
- デジタルを上手く利用して、介護する側も介護される側も余裕を持ち、安心して過ごせる環境を作り出す事が重要だと認識出来た。(70代男性)

アクティブシニアへの広報

2. 「朝日新聞Reライフ.net」における情報発信

アクティブシニアのコミュニティ「Reライフプロジェクト」が運営するウェブメディア「Reライフ.net」に特集ページ「これからのK A I G O」を設置。アクティブシニアの関心を引くために著名人等を活用した記事を制作し、介護の仕事への理解を深めました。

<https://www.asahi.com/relife/special/kaigo/>



	記事	PV数	UU数
1	将棋の今泉健司さんが介護の仕事で気づいた「勝ちたい」以上の気持ち プロ棋士・今泉健司五段インタビュー	22,514	19,782
2	二人羽織みたいな介護 「私が頑張るしかない」を変えたもの 俳優・市毛良枝さんインタビュー（上）	5,244	4,206
3	全力投球しない介護 母が残してくれたものは 俳優・市毛良枝さんインタビュー（下）	24,264	21,222
4	元NHKアナウンサーはなぜ52歳で医療福祉の現場に転職したのか 「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さんインタビュー（上）	25,180	21,553
5	人と人、地域・制度を結びつけ「その人らしく生きる」支えに 「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さんインタビュー（下）	14,325	11,884
6	誰もが介護の当事者になる時代 誰のことも排除しない「まぜこぜの社会」を 俳優・東ちづるさんインタビュー(上)	3,630	2,506
7	介護の現場も「まぜこぜ」がいい いろんな人が集まる新たな場に 俳優・東ちづるさんインタビュー（下）	29,300	25,371
8	逆さ人口ピラミッドから考える、シニアの役割、介護の仕事 東京大学特任准教授・檜山敦さんインタビュー	33,017	28,434
	合計	157,474	134,958

※特集ページへの誘導による過去記事の閲覧機会創出・・・14,468PV、13,301UU（25本計）

アクティブシニアへの広報

将棋の今泉健司さんが介護の仕事で気づいた
「勝ちたい」以上の気持ち
プロ棋士・今泉健司五段インタビュー

2021.11.11公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14473172>



二人羽織みたいな介護
「私が頑張るしかない」を変えたもの
俳優・市毛良枝さんインタビュー（上）

2021.12.03公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14478011>



全力投球しない介護
母が残してくれたものは
俳優・市毛良枝さんインタビュー（下）

2021.12.06公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14478057>



アクティブシニアへの広報

元NHKアナウンサーはなぜ52歳で医療福祉の現場に
転職したのか

「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さん
インタビュー（上）

2021.12.17公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14478058>



人と人、地域・制度を結びつけ
「その人らしく生きる」支えに

「もみじの家」ハウスマネージャー・内多勝康さん
インタビュー（下）

2021.12.17公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14499303>



誰もが介護の当事者になる時代

誰のことも排除しない「まぜこぜの社会」を
俳優・東ちづるさんインタビュー(上)

2021.12.23公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14478059>



アクティブシニアへの広報

介護の現場も「ませこぜ」がいい
いろんな人が集まる新たな場に
俳優・東ちづるさんインタビュー（下）

2021.12.23公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14499306>



逆さ人口ピラミッドから考える、
シニアの役割、介護の仕事
東京大学特任准教授・檜山敦さんインタビュー

2022.02.16公開

<https://www.asahi.com/relife/article/14478060>



アクティブシニアへの広報

ブランドリフト調査結果

「Reライフ.net」および「なかまある」（後述）コンテンツ接触者の意識変容を測るため、楽天インサイト社のブランドリフト調査を実施しました。

調査手法	インターネット調査																																																										
調査地域	全国																																																										
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50歳～75歳の男女 ・ 該当サイトの接触者／非接触者 																																																										
サンプルサイズ	<p>合計：200ss（接触者100ss、非接触者100ss）</p> <p>※接触者はログの有無により判定 ※性年代の構成比は、総務省統計局2021年労働力調査（2022年3月29日公開）に準じ、接触／非接触者それぞれにおいて以下のように割付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接触者</th> <th>50-54歳</th> <th>55-59歳</th> <th>60-64歳</th> <th>65-75歳</th> <th>合計</th> <th>非接触者</th> <th>50-54歳</th> <th>55-59歳</th> <th>60-64歳</th> <th>65-75歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>56</td> <td>男性</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>44</td> <td>女性</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>100</td> <td>合計</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>											接触者	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-75歳	合計	非接触者	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-75歳	合計	男性	15	12	11	18	56	男性	15	12	11	18	56	女性	13	10	8	13	44	女性	13	10	8	13	44	合計	28	22	19	31	100	合計	28	22	19	31	100
接触者	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-75歳	合計	非接触者	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-75歳	合計																																																
男性	15	12	11	18	56	男性	15	12	11	18	56																																																
女性	13	10	8	13	44	女性	13	10	8	13	44																																																
合計	28	22	19	31	100	合計	28	22	19	31	100																																																
実施期間	2022年3月22日（火）～ 3月24日（木）																																																										
実施機関	楽天インサイト株式会社																																																										

アクティブシニアへの広報

ブランドリフト調査結果

- これまでの「介護関与経験」は、接触者と非接触者に大きな差はないものの、男性より女性の方が関与が高い。年代による差はほぼない。
- 「周辺業務」認知は、接触者が非接触者を大きく上回る。特に女性では5割超の認知。
- 「周辺業務」興味・関心は、接触者と非接触者で同水準であるが、男性より女性の方が興味・関心が高い。
- 全体では介護職への関与より、地域貢献への関与の方が高い。また、接触者の関与意向は、非接触者を上回っている。

	非接触者	接触者		
	全体 (n=100)	全体 (n=100)	女性 (n=44)	60~75歳 (n=50)
介護関与経験	12.0%	15.0%	22.7%	12.0%
周辺業務 認知	23.0%	45.0%	52.3%	38.0%
周辺業務 興味・関心	64.0%	61.0%	72.7%	60.0%
介護職・地域貢献 に対する意識	地域貢献意欲 (23.0%) ボランティア参加意向 (7.0%) 職場体験・研修参加意向 (7.0%) 介護業界での就業意向 (5.0%)	地域貢献意欲 (27.0%) ボランティア参加意向 (15.0%) 職場体験・研修参加意向 (13.0%) 介護業界での就業意向 (13.0%)	地域貢献意欲 (29.5%) ボランティア参加意向 (18.2%) 介護業界での就業意向 (15.9%) 職場体験・研修参加意向 (13.6%)	地域貢献意欲 (26.0%) ボランティア参加意向 (14.0%) 職場体験・研修参加意向 (10.0%) 介護業界での就業意向 (6.0%)
半年以内の 「福祉・介護」 行動実績	ボランティア活動や手伝い (16.0%) 情報収集や問い合わせ (7.0%) 就職・職場体験 (7.0%) 研修・説明会参加 (5.0%)	情報収集や問い合わせ (13.0%) ボランティア活動や手伝い (10.0%) 就職・職場体験 (7.0%) 研修・説明会参加 (6.0%)	情報収集や問い合わせ (15.9%) ボランティア活動や手伝い (13.6%) 就職・職場体験 (9.1%) 研修・説明会参加 (6.8%)	情報収集や問い合わせ (12.0%) ボランティア活動や手伝い (10.0%) 研修・説明会参加 (6.0%) 就職・職場体験 (6.0%)

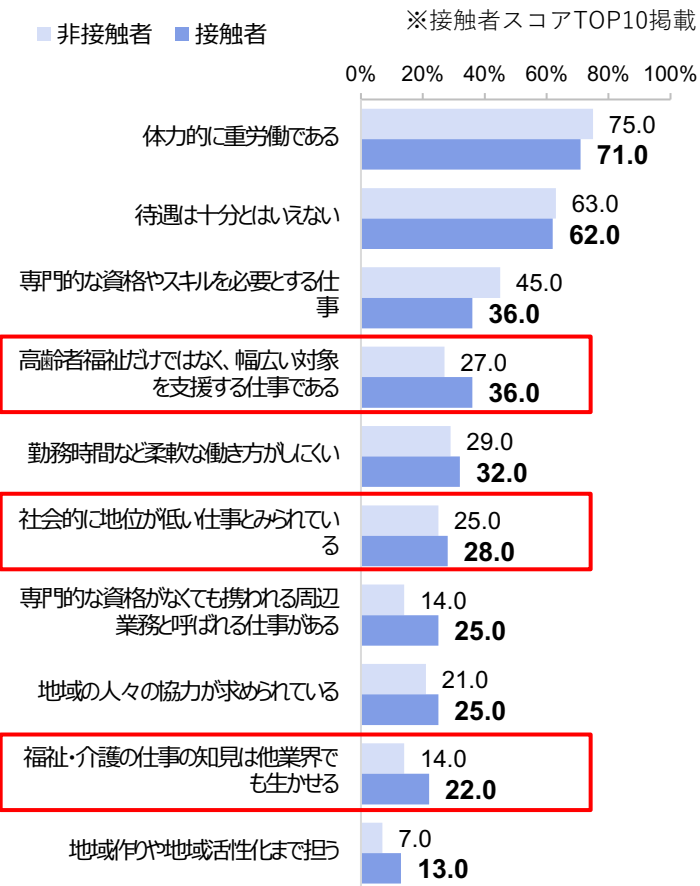
アクティブシニアへの広報

ブランドリフト調査結果

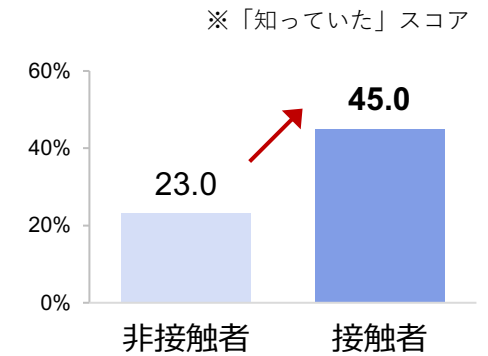
- 接触者の【介護のイメージ】、【周辺業務の認知】は、非接触者と比べてポジティブにリフトしている。また、【興味・関心のある周辺業務】も接触者の方が高くなっており、特に「施設の事務仕事のお手伝い」、「コミュニケーション関係のお手伝い」が非接触者と比べて高い。
- 【介護職・地域貢献に対する意識】は、いずれの内容も接触者の意向・意欲が高い。

対象：全員

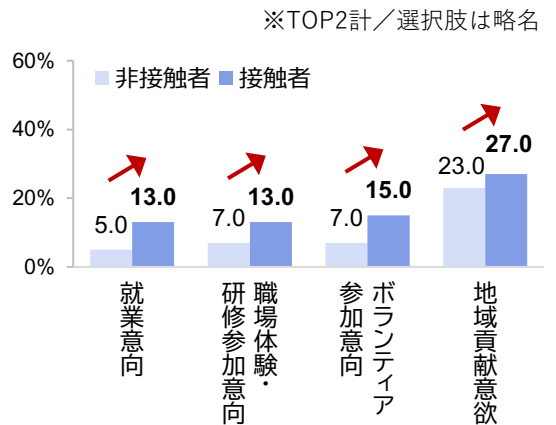
介護職のイメージTOP10 (Q3)



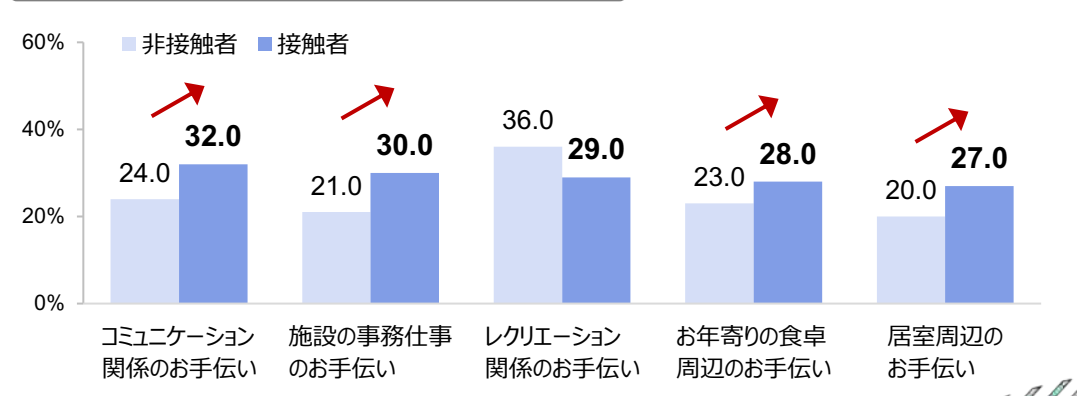
介護の「周辺業務」認知 (Q4)



介護職・地域貢献に対する意識 (Q6)



興味・関心のある周辺業務TOP5 (Q5)



アクティブシニアへの広報

ブランドリフト調査結果

- 【介護の仕事に対する魅力ワード】は、記事の接触に関わらず、上位3項目は同じ項目が挙がった。接触者は、「介護の現場には、あなたの得意なことを生かせる仕事があります」が非接触者を9pt上回っている。
- 【半年以内の「福祉・介護」行動】は、接触者の「情報収集や問合せ」行動が、非接触を大きく上回っている。

対象：全員

「介護の仕事」魅力ワードTOP3 (Q7)

非接触者

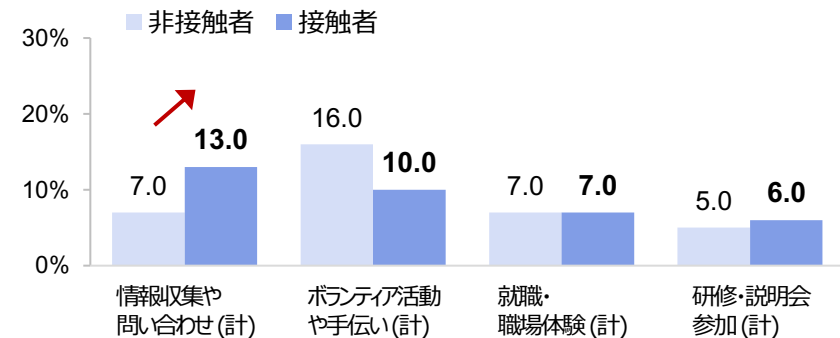
TOP	魅力ワード	%
1	介護現場に関わった経験は、あなたの家族やあなた自身の介護にも役立ちます	32.0
2	介護の現場には、あなたの得意なことを生かせる仕事があります	26.0
2	介護の周辺業務なら、時間や勤務日などが選べ、あなたにあった働き方ができます	26.0

接触者

TOP	魅力ワード	%
1	介護の現場には、あなたの得意なことを生かせる仕事があります	35.0
2	介護の周辺業務なら、時間や勤務日などが選べ、あなたにあった働き方ができます	32.0
3	介護現場に関わった経験は、あなたの家族やあなた自身の介護にも役立ちます	31.0

半年以内の「福祉・介護」行動 (Q15)

※カテゴリ毎の計スコア



TOP	接触者の行動TOP5	%
1	福祉や介護の仕事に関する情報収集をした	9.0
2	自治体等が開催するボランティア活動に参加した	4.0
2	地域の介護福祉コミュニティのお手伝い	4.0
2	家族や近所など身近にいるお年寄りのお手伝いをした	4.0
2	福祉や介護の職場でパート・アルバイトをした (している)	4.0

アクティブシニアへの広報

ブランドリフト調査結果

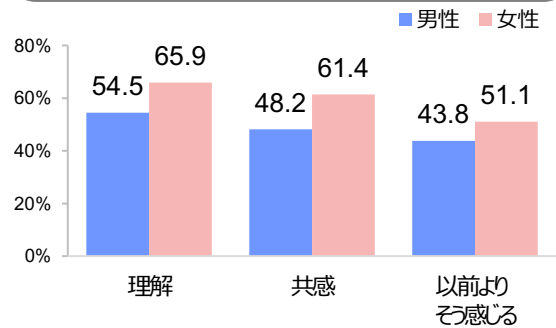
- 【チームビルディング】を除く4カテゴリーでは、女性の評価が男性を10pt程度上回る。男性より女性の方が介護の仕事に対して前向きであると考えられる。

対象：全員

Q8～Q12

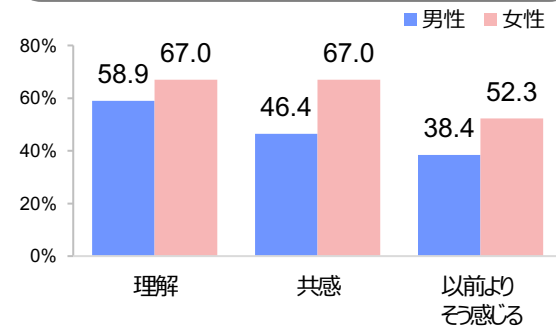
【地域人材からの確保】

アクティブシニアをはじめとした地域の潜在的な人材をうまく活用することで、人材の好循環を創出し、安定的な人材確保につながる



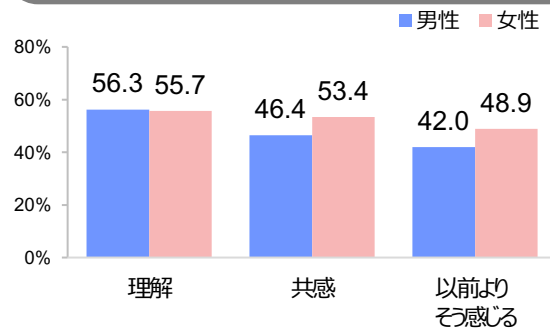
【業務の切り分け】

業務の洗い出しと切り分けや役割分担を明確にし、アクティブシニアをはじめとした多様な人材が関わることで専門職の負担軽減・労働環境が改善され、離職率の低下、および生産性向上につながる



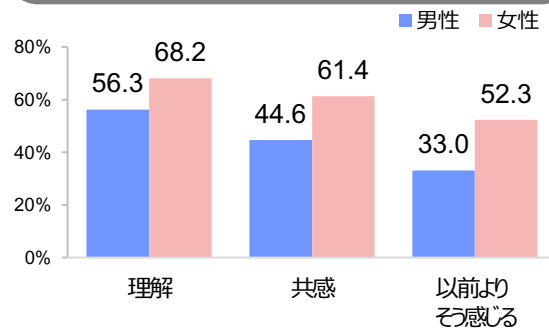
【チームビルディング】

雇用形態で区別せず、業務改善をチームで取り組める環境や制度を整備することで、職員・スタッフのモチベーション向上につながり、個々のスキルアップやモチベーションが向上する。また、労働環境や経営環境も改善する



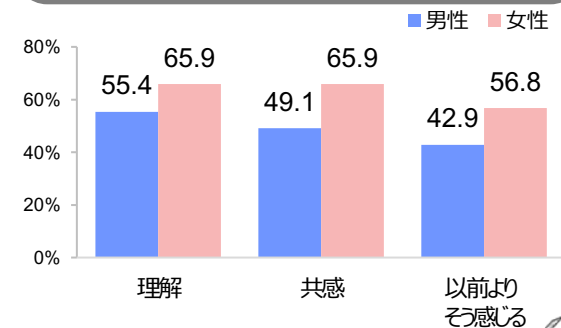
【人材の定着】

個々の得意や特技を把握し、またそれぞれの働き方を踏まえた業務配置をすることで、幅広い人材が働きやすい環境を生み、離職率低下につながる



【地域の介護力向上】

アクティブシニアが社会とかわかり、働き続けることが自身の介護予防、そして地域の介護力向上につながるなど、賃金以外の副次的な効果につながる



アクティブシニアへの広報

3. 「入門的研修」啓発動画の作成・配信および新聞広告での情報発信

アクティブシニアの中から介護未経験のモニターを募集し、介護に関する入門的研修の模擬講義やオンライン職場見学会を実施。その様子を30分の動画にまとめるとともに新聞紙面で情報発信し、読者の共感を喚起しました。

「入門的研修」模擬講義&オンライン職場見学会&特別講演会の実施

実施日：2022年1月29日、30日

実施内容：アクティブシニアの中から選定したモニター2名に対して2日間の講習会を実施。

一連の講習内容とともに講習会体験前後で介護の仕事に対するイメージがどう変化したかを30分の動画にまとめました。

①入門的研修模擬講義

講師：ソラスト株式会社専任講師 平山さゆり氏

「介護の基本」「基本的な介護の方法」「生活支援技術の基本」「認知症の理解」の4テーマ50分×4コマの講義を実施。

②オンライン職場見学会&質問会

講師：アゼリーグループ社会福祉法人江寿会理事 アゼリーアネックス 施設長 福原聡一郎氏

③特別講義「ライフステージに応じた社会活動と『生きがい就労』の意義」

講師：東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究部長 藤原佳典氏



事業全体の経過

アクティブシニアへの広報

アクティブシニア向け「入門的研修」啓発動画の作成

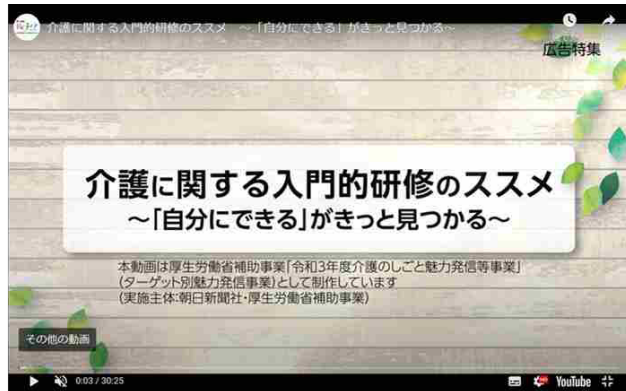
制作本数：1本（30秒）

公開日：令和4年3月27日

再生回数：588回 ※令和4年3月31日時点

<https://www.youtube.com/watch?v=jQg3r09fOkk&t=774s>

<https://www.asahi.com/relife/article/14577479>



新聞広告での発信

媒体：朝日新聞全国版朝刊15段多色

掲載日：令和4年3月27日（土）

到達数：発行部数5,160,355 × 閲読人数2.1人 = 10,836,745人

朝日新聞 ReLife with 読者会議 人生充実 広告特集

「あなたに役立つ」がきっと見つかる
「介護入門」の扉を開いてみませんか?

人生100年代「介護」は誰しもが関わるテーマです。皆さんは介護に関する入門的研修を知っていますか？介護未経験者が介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の現場に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修で、事前研修で実施されています。今回はその一部を「ReLife読者会議」のコーナーに収録してもらいましょう。

入門的研修で模擬講義
介護とはどうあるべきか、法律から見た介護とは
自分を持って介護の基本を体験

「介護に関する入門的研修」体験も始めて

介護に関する入門的研修とは
介護未経験者が介護に関する基本的な知識を身につけるとともに、介護の現場に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修で、事前研修で実施されています。今回はその一部を「ReLife読者会議」のコーナーに収録してもらいましょう。

介護に関する入門的研修のススメ
https://www.youtube.com/watch?v=jQg3r09fOkk

厚生労働省

事業全体の経過

アクティブシニアへの広報

新聞広告J-MONITOR調査

調査対象広告

対象広告 : 広告特集『Reライフ
「介護入門」の扉を
開いてみませんか?』

掲載日 : 2022年3月27日(日)
掲載新聞 : 朝日新聞東京本社版
刊別 : 朝刊
段数 : 全15段
色 : 多色

算出方法について

【有効回収数率】
有効回答者/パネル登録者×100

【当該刊読率】
当該刊読者/有効回答者<新聞購読者>×100

【当該刊保有率】
当該刊保有者/有効回答者<新聞購読者>×100

【当該刊読読かつ保有率】
当該刊読読かつ保有者/有効回答者<新聞購読者>×100

【広告接触率】
(当該広告「確かに見た」+「見たような気がする」)
/有効回答者<新聞購読者>×100

【広告注目率】
当該広告「確かに見た」/当該刊読読かつ保有者×100

パネル登録者構成比

性・年代構成		上段:実数 下段:%										
全体	男性	女性	男性					女性				
			29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
300	149	151	36	21	23	20	49	37	17	27	25	45
100.0	49.7	50.3	12.0	7.0	7.7	6.7	16.3	12.3	5.7	9.0	8.3	15.0
職業構成		上段:実数 下段:%										
全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
300	48	19	35	13	29	4	0	41	70	13	28	
100.0	16.0	6.3	11.7	4.3	9.7	1.3	0.0	13.7	23.3	4.3	9.3	

有効回答者(率)

性・年代別		上段:実数 下段:%										
全体	男性	女性	男性					女性				
			29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
213	104	109	17	14	11	18	44	18	14	19	22	36
71.0	69.8	72.2	47.2	66.7	47.8	90.0	89.8	48.6	82.4	70.4	88.0	80.0
職業別		上段:実数 下段:%										
全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
213	33	13	21	11	22	2	0	21	54	11	25	
71.0	68.8	68.4	60.0	84.6	75.9	50.0	0.0	51.2	77.1	84.6	89.3	

当該刊読者(率)

性・年代別		上段:実数 下段:%										
全体	男性	女性	男性					女性				
			29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
198	100	98	15	12	11	18	44	13	13	15	22	35
93.0	96.2	89.9	88.2	85.7	100.0	100.0	100.0	72.2	92.9	78.9	100.0	97.2
職業別		上段:実数 下段:%										
全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
198	32	12	20	11	21	2	0	15	51	9	25	
93.0	97.0	92.3	95.2	100.0	95.5	100.0	0.0	71.4	94.4	81.8	100.0	

当該刊保有者(率)

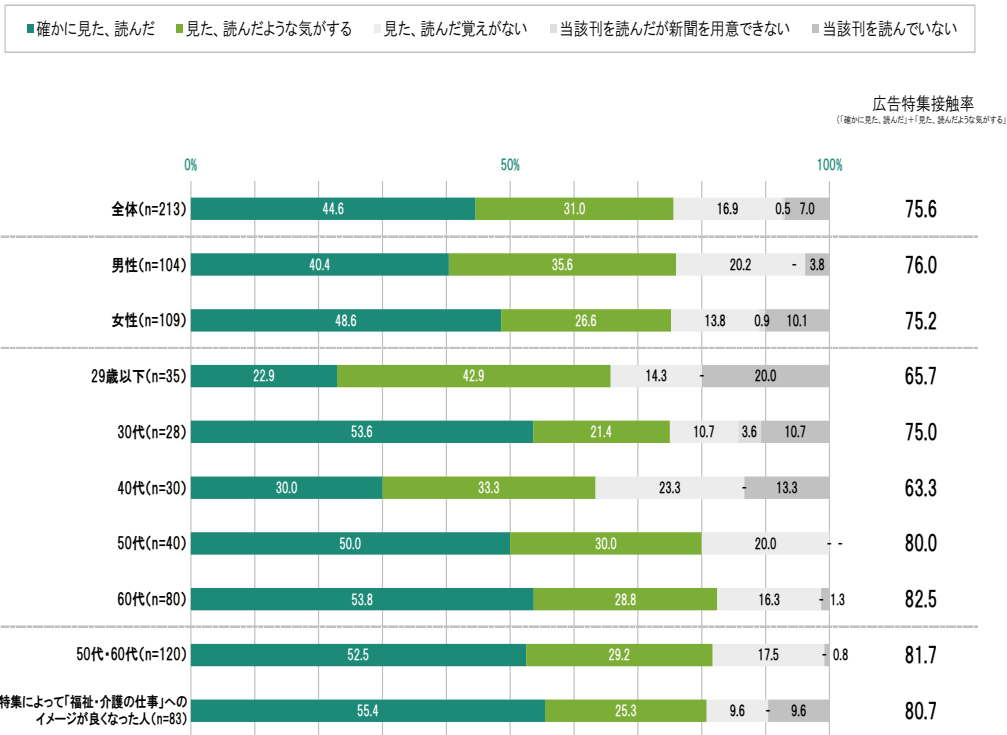
性・年代別		上段:実数 下段:%										
全体	男性	女性	男性					女性				
			29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
211	104	107	17	14	11	18	44	17	13	19	22	36
99.1	100.0	98.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.4	92.9	100.0	100.0	100.0
職業別		上段:実数 下段:%										
全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
211	33	13	20	11	22	2	0	20	54	11	25	
99.1	100.0	100.0	95.2	100.0	100.0	100.0	0.0	95.2	100.0	100.0	100.0	

当該刊読読かつ保有者(率)

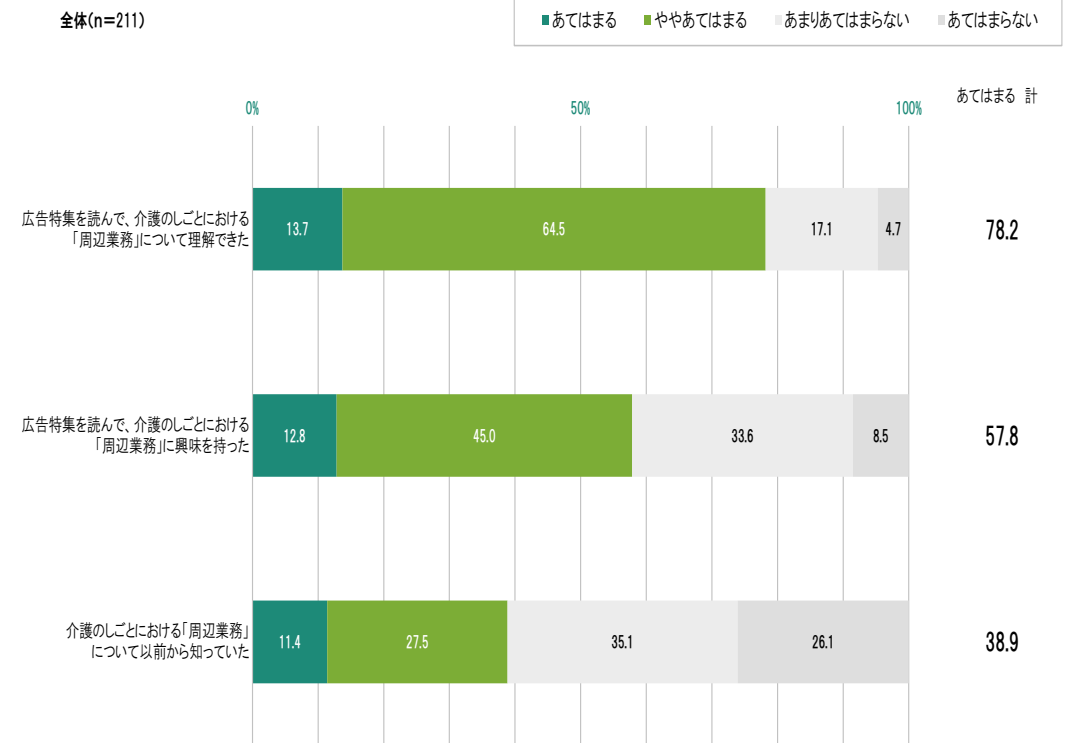
性・年代別		上段:実数 下段:%										
全体	男性	女性	男性					女性				
			29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
197	100	97	15	12	11	18	44	13	12	15	22	35
92.5	96.2	89.0	88.2	85.7	100.0	100.0	100.0	72.2	85.7	78.9	100.0	97.2
職業別		上段:実数 下段:%										
全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
197	32	12	19	11	21	2	0	15	51	9	25	
92.5	97.0	92.3	90.5	100.0	95.5	100.0	0.0	71.4	94.4	81.8	100.0	

新聞広告J-MONITOR調査

広告接触状況



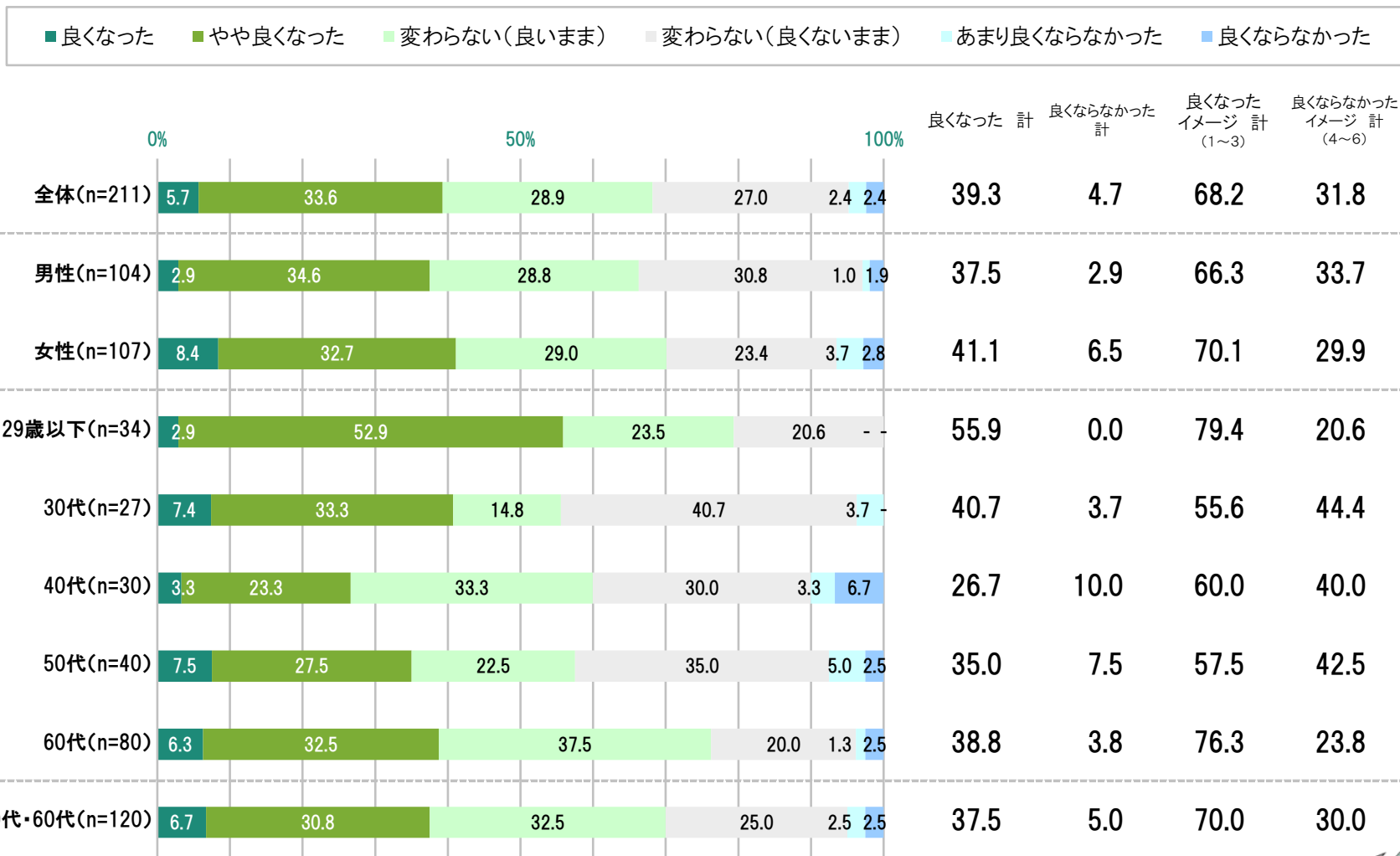
介護のしごとにおける「周辺業務」について、あてはまるものをお答えください。(単数選択)



アクティブシニアへの広報

新聞広告J-MONITOR調査

あなたは、今回の紙面をご覧になって「福祉・介護の仕事」に対するイメージに変化はありましたか。（単数選択）



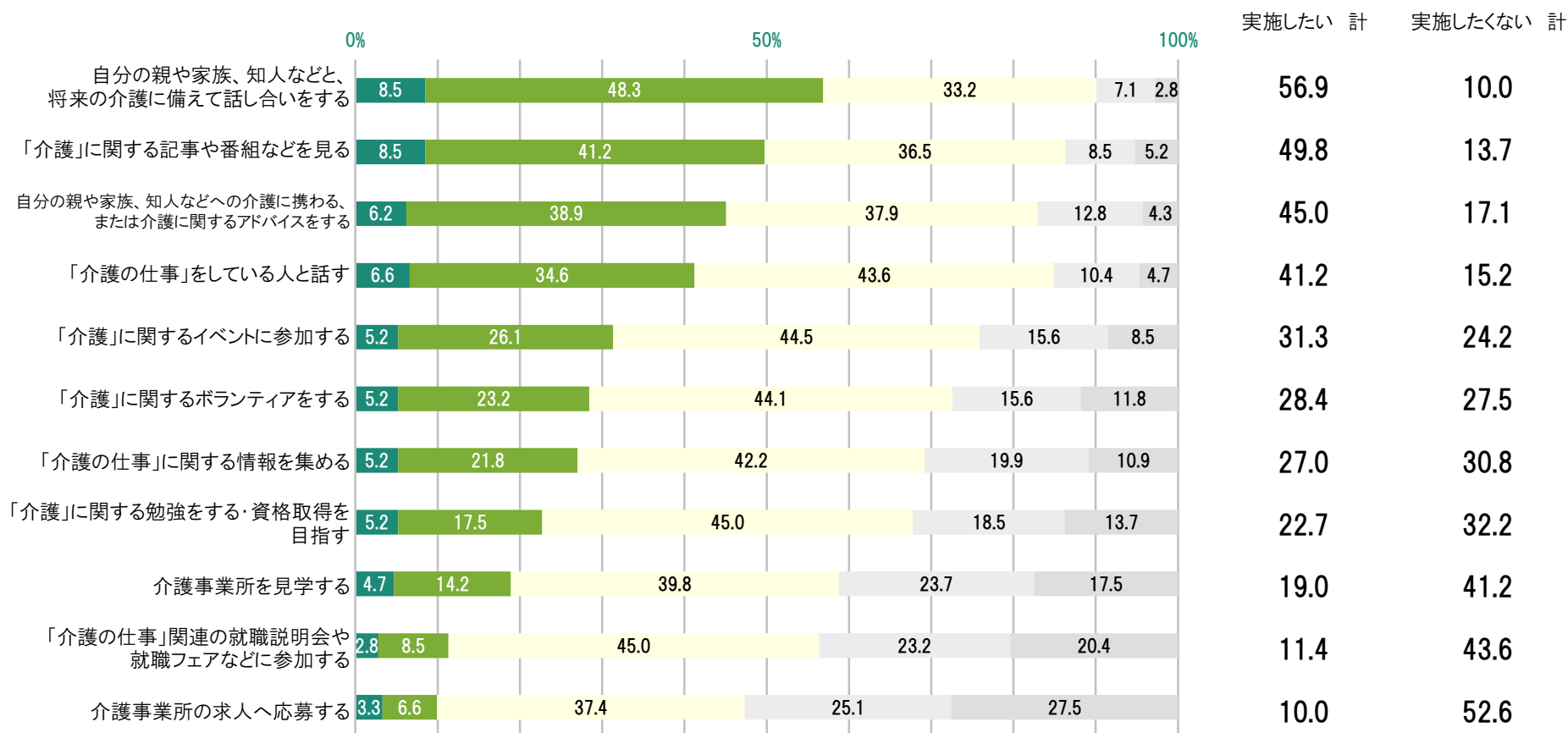
アクティブシニアへの広報

新聞広告J-MONITOR調査

以下の項目について、あなたの今後の行動として、最もあてはまるものをそれぞれ教えてください。（単数選択）

全体(n=211)

■ 積極的に実施したい ■ 機会があれば実施したい ■ どちらでもない ■ あまり実施したくない ■ 実施したくない



アクティブシニアへの広報

4. 「介護現場で働くシニアの輝きポートレート」の実施

現役シニア介護職の参加型企画を実施。「働くシニアのかっこよさ」と「介護の仕事の魅力」をビジュアルの強さで表現し、一般の方の介護の仕事に対するイメージの向上、興味関心の拡大を図るとともに、全国の介護事業者にもシニア雇用や業務の切り分けを啓発しました。

【実施内容】

応募期間：令和3年8月17日（火）～10月15日（金）23:59まで ※当初10月1日締切を延長
応募総数：48件（Web35件、郵送13件）
告知方法：Web広告、朝日新聞5段モノクロ、プレスリリース、関連団体のHP上で周知、直接案内等
審査員：本事業の企画委員6名
選定作品：12作品（副賞としてクオカード1万円分および記念パネルを贈呈）

【結果発表】

媒体：朝日新聞全国版朝刊15段多色 および Reライフ.net
掲載日：令和3年11月11日（木）
到達数：発行部数5,160,355×閲読人数2.1人＝10,836,745人



【応募要項】

概要：介護の仕事には、主に有資格者が従事する専門業務から、資格がなくても始めることができる周辺業務まで幅広く多様な仕事が存在しており、誰もが自分の得意なことを生かして活躍できます。特に周辺業務においてはアクティブシニアがその担い手となることが期待されています。

そこで、介護の現場で働くシニアの方の様子を撮影した写真(以下「応募写真」といいます)と介護の仕事の魅力について200字以内でつづった文章(以下「応募作品」といいます)を幅広く募集します。企画委員による選定会を開催し、介護の仕事の魅力と多様性を表す12作品を選定します。選定した12作品は新聞やウェブサイトを通じて世の中に広く発信します。

テーマ：介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護業界への就職を希望する人の背中を押すことができる写真とメッセージ

応募資格：令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方（資格の有無や業務の内容、雇用形態は問いません）

応募条件：応募作品は日本語で200字以内のもの（巧拙は問いませんので、気持ちを込めた作品をご応募ください）、
応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものをご応募ください。
オリジナルかつ未発表の作品に限ります。
お一人につき、応募写真1枚と、応募作品1つまでご応募いただけます。

事業全体の経過 アクティブシニアへの広報

<告知>



これからのKAIGO
-「自分でできるがきっと見つかる」-

介護現場で働くシニアの輝きポートレート

介護の仕事は、主体的な役割が期待される専門業務から、後援的なものも増えることが出来る環境まで幅広く多様です。誰もが自分の得意なことから働き始め、特に実証活動には「アクティブシニア」がその強い味方となることを期待しています。介護の現場の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージをお待ちしています。

募集テーマ 介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージ (写真のサイズは10cm×15cm)

応募期間 令和3年10月7日(火)～10月15日(金)23:59まで (郵送の場合は10月1日迄)

応募資格 令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方(資格の有無や業種の内容、雇用形態は問いません)

応募条件 ●応募作品は日本語で200字以内のもの(写抽は問いませんので、気持ちよめたな写真をご応募ください)。応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものを応募ください。●オリジナルかつ未発表の作品に限ります。●一人につき、応募写真1枚と、応募作品1枚までご応募いただけます。

応募項目 応募者氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、介護歴(年数)、資格(ある場合のみ)、応募作品、応募写真(郵送の場合は以上)、現在の仕事内容(以下の中から最も近い仕事内容を記載してください。複数記載可)
●入浴介助(入浴介助) ●食事介助(食事介助) ●排泄介助(排泄介助) ●洗濯・掃除(洗濯・掃除) ●生活介助(生活介助) ●その他(その他) ●介護士(介護士) ●ケアマネージャー(ケアマネージャー) ●その他(その他)

応募方法 ウェブの申し込みフォームに必要事項を記載するか、郵送でお申し込みください。
●ウェブ申し込み: 住所/〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
●郵送申し込み: 必要事項を明記・封筒封入し、下記までお送りください。
(郵送にも実印等の住所印を添付してください。)

〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局

※お問い合わせ: 朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局(朝日新聞社4階)
電話: 03-3263-1111(平日10時～17時) FAX: 03-3263-1111

Reライフ.net

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集!

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集! 伝えてほしい「あなたが力になる仕事がある」

介護の仕事は、主体的な役割が期待される専門業務から、後援的なものも増えることが出来る環境まで幅広く多様です。誰もが自分の得意なことから働き始め、特に実証活動には「アクティブシニア」がその強い味方となることを期待しています。介護の現場の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージをお待ちしています。

これからのKAIGO「自分でできるがきっと見つかる」
介護現場で働くシニアの輝きポートレート

募集テーマ: 介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージ (写真のサイズは10cm×15cm)

応募期間: 令和3年10月7日(火)～10月15日(金)23:59まで (郵送の場合は10月1日迄)

応募資格: 令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方(資格の有無や業種の内容、雇用形態は問いません)

応募条件: ●応募作品は日本語で200字以内のもの(写抽は問いませんので、気持ちよめたな写真をご応募ください)。応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものを応募ください。●オリジナルかつ未発表の作品に限ります。●一人につき、応募写真1枚と、応募作品1枚までご応募いただけます。

応募項目: 応募者氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、介護歴(年数)、資格(ある場合のみ)、応募作品、応募写真(郵送の場合は以上)、現在の仕事内容(以下の中から最も近い仕事内容を記載してください。複数記載可)
●入浴介助(入浴介助) ●食事介助(食事介助) ●排泄介助(排泄介助) ●洗濯・掃除(洗濯・掃除) ●生活介助(生活介助) ●その他(その他) ●介護士(介護士) ●ケアマネージャー(ケアマネージャー) ●その他(その他)

応募方法: ウェブの申し込みフォームに必要事項を記載するか、郵送でお申し込みください。
●ウェブ申し込み: 住所/〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
●郵送申し込み: 必要事項を明記・封筒封入し、下記までお送りください。
(郵送にも実印等の住所印を添付してください。)

〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局

Reライフ.net

なかまある

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集!

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集! 伝えてほしい「あなたが力になる仕事がある」

介護の仕事は、主体的な役割が期待される専門業務から、後援的なものも増えることが出来る環境まで幅広く多様です。誰もが自分の得意なことから働き始め、特に実証活動には「アクティブシニア」がその強い味方となることを期待しています。介護の現場の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージをお待ちしています。

これからのKAIGO「自分でできるがきっと見つかる」
介護現場で働くシニアの輝きポートレート

募集テーマ: 介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージ (写真のサイズは10cm×15cm)

応募期間: 令和3年10月7日(火)～10月15日(金)23:59まで (郵送の場合は10月1日迄)

応募資格: 令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方(資格の有無や業種の内容、雇用形態は問いません)

応募条件: ●応募作品は日本語で200字以内のもの(写抽は問いませんので、気持ちよめたな写真をご応募ください)。応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものを応募ください。●オリジナルかつ未発表の作品に限ります。●一人につき、応募写真1枚と、応募作品1枚までご応募いただけます。

応募項目: 応募者氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、介護歴(年数)、資格(ある場合のみ)、応募作品、応募写真(郵送の場合は以上)、現在の仕事内容(以下の中から最も近い仕事内容を記載してください。複数記載可)
●入浴介助(入浴介助) ●食事介助(食事介助) ●排泄介助(排泄介助) ●洗濯・掃除(洗濯・掃除) ●生活介助(生活介助) ●その他(その他) ●介護士(介護士) ●ケアマネージャー(ケアマネージャー) ●その他(その他)

応募方法: ウェブの申し込みフォームに必要事項を記載するか、郵送でお申し込みください。
●ウェブ申し込み: 住所/〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
●郵送申し込み: 必要事項を明記・封筒封入し、下記までお送りください。
(郵送にも実印等の住所印を添付してください。)

〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局

なかまある

プレスリリース

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集!

介護の現場で働く60歳以上の方の写真とメッセージを募集! 伝えてほしい「あなたが力になる仕事がある」

介護の仕事は、主体的な役割が期待される専門業務から、後援的なものも増えることが出来る環境まで幅広く多様です。誰もが自分の得意なことから働き始め、特に実証活動には「アクティブシニア」がその強い味方となることを期待しています。介護の現場の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージをお待ちしています。

これからのKAIGO「自分でできるがきっと見つかる」
介護現場で働くシニアの輝きポートレート

募集テーマ: 介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージ (写真のサイズは10cm×15cm)

応募期間: 令和3年10月7日(火)～10月15日(金)23:59まで (郵送の場合は10月1日迄)

応募資格: 令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方(資格の有無や業種の内容、雇用形態は問いません)

応募条件: ●応募作品は日本語で200字以内のもの(写抽は問いませんので、気持ちよめたな写真をご応募ください)。応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものを応募ください。●オリジナルかつ未発表の作品に限ります。●一人につき、応募写真1枚と、応募作品1枚までご応募いただけます。

応募項目: 応募者氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、介護歴(年数)、資格(ある場合のみ)、応募作品、応募写真(郵送の場合は以上)、現在の仕事内容(以下の中から最も近い仕事内容を記載してください。複数記載可)
●入浴介助(入浴介助) ●食事介助(食事介助) ●排泄介助(排泄介助) ●洗濯・掃除(洗濯・掃除) ●生活介助(生活介助) ●その他(その他) ●介護士(介護士) ●ケアマネージャー(ケアマネージャー) ●その他(その他)

応募方法: ウェブの申し込みフォームに必要事項を記載するか、郵送でお申し込みください。
●ウェブ申し込み: 住所/〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
●郵送申し込み: 必要事項を明記・封筒封入し、下記までお送りください。
(郵送にも実印等の住所印を添付してください。)

〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局

プレスリリース

選定された方に
1万円相当の
クオカード進呈!
朝日新聞広告特集でも
ご紹介!

10月15日(金)まで「介護現場で働くいきいきとした写真とメッセージ」を募集!

介護の現場で働く60歳以上の方、介護や福祉に携わる方注目!
仕事の魅力を写真とメッセージで発信し、仲間を増やしませんか?

介護の仕事は、主体的な役割が期待される専門業務から、後援的なものも増えることが出来る環境まで幅広く多様です。誰もが自分の得意なことから働き始め、特に実証活動には「アクティブシニア」がその強い味方となることを期待しています。介護の現場の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージをお待ちしています。

募集テーマ 介護の仕事の魅力ややりがい、仕事内容の多様性など、介護現場への関心を喚起する人の背中を押すことが出来る写真とメッセージ (写真のサイズは10cm×15cm)

応募期間 令和3年10月7日(火)～10月15日(金)23:59まで (郵送の場合は10月1日迄)

応募資格 令和3年4月1日時点で60歳以上かつ応募時点で介護の仕事に従事する方(資格の有無や業種の内容、雇用形態は問いません)

応募条件 ●応募作品は日本語で200字以内のもの(写抽は問いませんので、気持ちよめたな写真をご応募ください)。応募写真は介護現場で働く応募者の姿を写したものを応募ください。●オリジナルかつ未発表の作品に限ります。●一人につき、応募写真1枚と、応募作品1枚までご応募いただけます。

応募項目 応募者氏名(ふりがな)、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、介護歴(年数)、資格(ある場合のみ)、応募作品、応募写真(郵送の場合は以上)、現在の仕事内容(以下の中から最も近い仕事内容を記載してください。複数記載可)
●入浴介助(入浴介助) ●食事介助(食事介助) ●排泄介助(排泄介助) ●洗濯・掃除(洗濯・掃除) ●生活介助(生活介助) ●その他(その他) ●介護士(介護士) ●ケアマネージャー(ケアマネージャー) ●その他(その他)

応募方法 ウェブの申し込みフォームに必要事項を記載するか、郵送でお申し込みください。
●ウェブ申し込み: <http://kaiigo.com/>
●郵送申し込み: 必要事項を明記・封筒封入し、下記までお送りください。
(郵送にも実印等の住所印を添付してください。)

〒163-0210 東京都新宿区西新宿6-11 新住友ビル401号
朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局

※お問い合わせ: 朝日新聞社 介護のしごと魅力発信推進事務局(朝日新聞社4階)
電話: 03-3263-1111(平日10時～17時) FAX: 03-3263-1111

朝日新聞

<告知>

全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、日本介護福祉士会、全国有料老人ホーム協会、全国介護付きホーム協会（高住連構成団体）高齢者住宅協会のHPやメールマガジン、SNSなどで掲載をいただきました。



<告知>

- ・ インターネット広告は応募資格に合わせて①介護の仕事に従事している人②定年退職や転職で介護の仕事に興味を持っている人をターゲットに設定。あわせて介護事業者、介護従事者に広告を配信することで、同僚への「口コミ」効果を促しました。
- ・ 募集途中で反応の悪いクリエイティブを差し替えるなど、改善を行いました。
- ・ 昨年度事業で制作した周辺業務を紹介する短編動画をFacebookで積極的に広告配信したところ、反応率が向上しました。
- ・ 募集LPには約1万人が訪問しました。流入元は、google/cpc(Googleのリスティング広告とディスプレイ広告が混在)がセッション全体の36%を占めました。次いでfacebook/clickもセッション全体の28%を占めました。
- ・ 募集LPから応募フォームに遷移した数は267件でした。Facebook広告からの流入が最も多い結果となりました。
- ・ このほかダイレクトアプローチとして、高瀬委員から未来をつくるkaigoカフェへのご案内、約400件の介護事業者にDM送付、なかまあるTwitterフォロワーへのアプローチ、大手介護事業者会社への直接案内などを行いました。

メインクリエイティブをより実際のターゲット像に近い表現に変更



Facebookで動画広告配信



アクティブシニアへの広報

<プレスリリース効果>

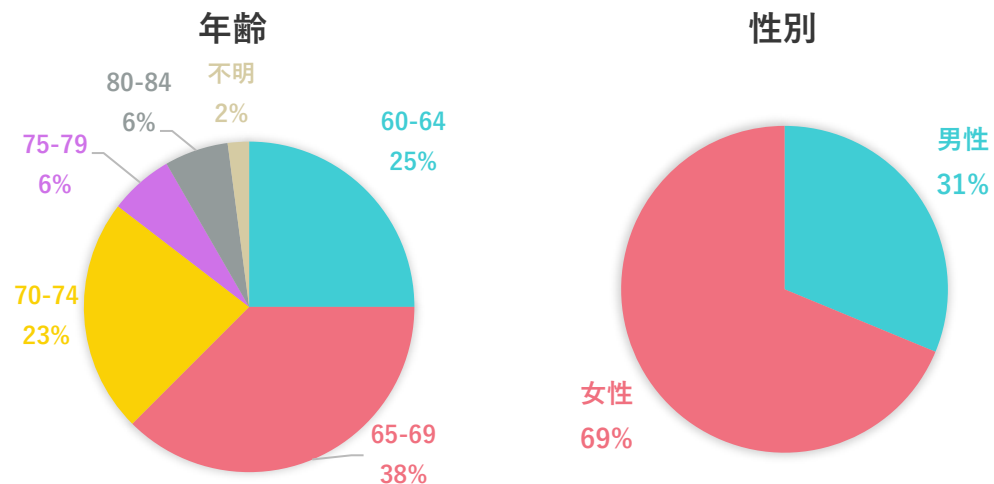
公募専門サイト、介護メディアやケアマネージャー専門サイト、カメラ愛好家メディア、シニア向けメディアなど複数の媒体で取り上げられました。



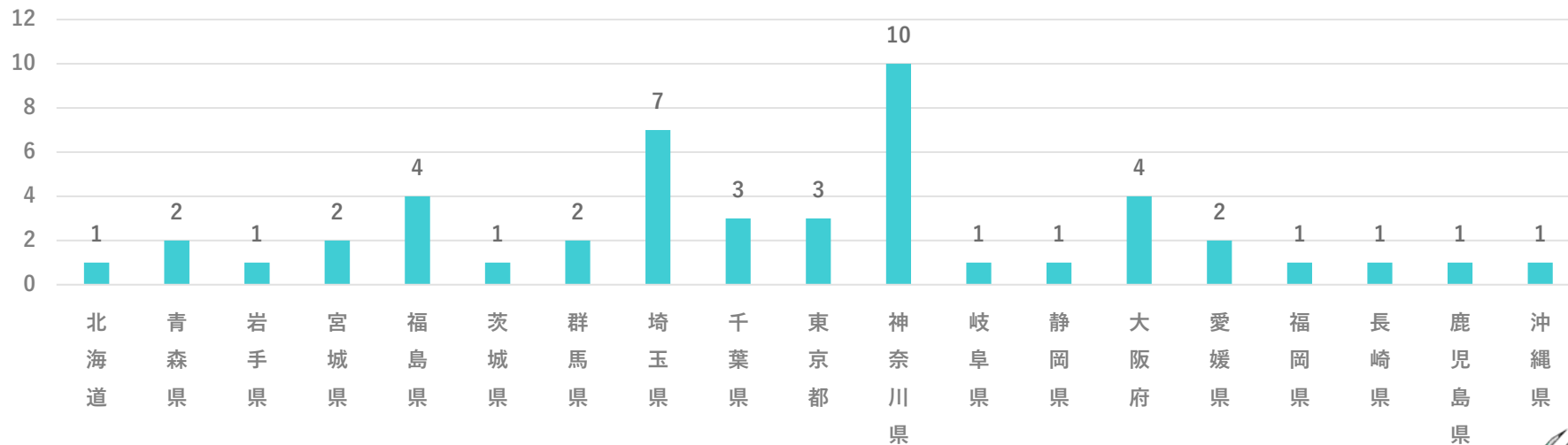
アクティブシニアへの広報

<応募結果>

- ・ 応募期間：2021年8月17日(火)～2021年10月15日(金)23：59まで ※当初10月1日予定
- ・ 応募総数：**48件** (Web35件、郵送13件)



お住まいの地域



<結果発表>

「これからのKAIGO」
介護現場で働くシニアの輝きポートレート
 介護の世界には様々な役割があり、人生経験や長年のスキルを生かして多くのニーズが満たされています。介護現場で働くシニアは、社会に貢献し、学びの機会を得ることで、自分自身の成長も果たしています。今回は、11月11日「介護の日」を機に、介護への理解と認識を高めるに、ぜひ読んでいただき、関心を深めてほしいと思います。皆さんの応援をお願いします。

選定作品決定!

Reライフ.net

原生の創造

新聞広告での発信

媒体：朝日新聞全国版朝刊15段多色

掲載日：令和3年11月11日（木）

到達数：発行部数5,160,355 × 閲読人数2.1人 = 10,836,745人

Reライフ.netにも掲載

Reライフ.net

介護現場で働くシニアの輝きポートレート

選定作品決定!

Reライフ.net

新聞広告J-MONITOR調査

調査対象広告

対象広告 : 広告特集
『これからのKAIGO
介護現場で働く
シニアの輝きポートレート』

掲載日 : 2021年11月11日(木)
掲載新聞 : 朝日新聞東京本社版
刊別 : 朝刊
段数 : 全15段
色 : 多色

算出方法について

【有効回収数率】

有効回答者／パネル登録者×100

【当該刊閲読率】

当該刊閲読者／有効回答者<新聞購読者>×100

【当該刊保有率】

当該刊保有者／有効回答者<新聞購読者>×100

【当該刊閲読かつ保有率】

当該刊閲読かつ保有者／有効回答者<新聞購読者>×100

【広告接触率】

(当該広告「確かに見た」+「見たような気がする」)
／有効回答者<新聞購読者>×100

【広告注目率】

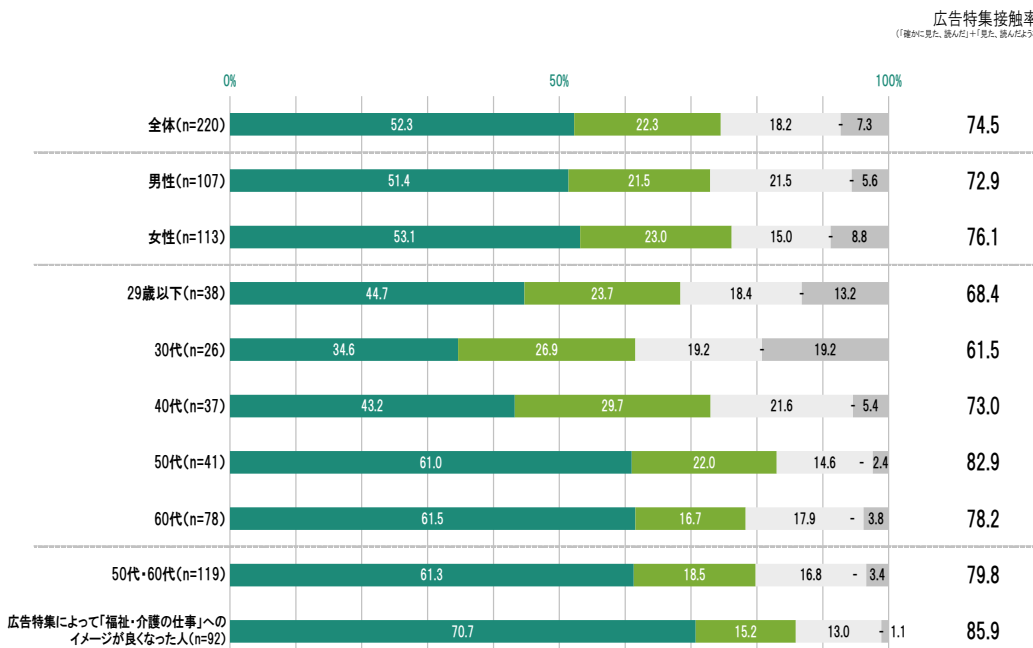
当該広告「確かに見た」／当該刊閲読かつ保有者×100

パネル登録者構成比	<性・年代構成> 上段:実数 下段:%												
	全体	男性	女性	男性					女性				
	300	149	151	29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
100.0	49.7	50.3	12.0	7.0	7.7	6.7	16.3	12.3	5.7	9.0	8.3	15.0	
有効回答者率	<職業構成> 上段:実数 下段:%												
	全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
	300	57	16	31	17	29	5	0	39	62	16	28	
100.0	19.0	5.3	10.3	5.7	9.7	1.7	0.0	13.0	20.7	5.3	9.3		
当該刊閲読者率	<性・年代別> 上段:実数 下段:%												
	全体	男性	女性	男性					女性				
	220	107	113	29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
73.3	71.8	74.8	47.2	57.1	73.9	90.0	87.8	56.8	82.4	74.1	92.0	77.8	
当該刊保有者率	<職業別> 上段:実数 下段:%												
	全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
	220	42	13	22	14	23	3	0	17	52	13	21	
73.3	73.7	81.2	71.0	82.4	79.3	60.0	0.0	43.6	83.9	81.2	75.0		
当該刊閲読かつ保有者率	<性・年代別> 上段:実数 下段:%												
	全体	男性	女性	男性					女性				
	204	101	103	29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
92.7	94.4	91.2	88.2	83.3	100.0	100.0	95.3	85.7	78.6	90.0	95.7	97.1	
当該刊閲読かつ保有者率	<職業別> 上段:実数 下段:%												
	全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
	204	37	11	21	14	18	3	0	16	52	13	19	
92.7	88.1	84.6	95.5	100.0	78.3	100.0	0.0	94.1	100.0	100.0	90.5		
当該刊閲読かつ保有者率	<性・年代別> 上段:実数 下段:%												
	全体	男性	女性	男性					女性				
	218	107	111	29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
99.1	100.0	98.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	
当該刊閲読かつ保有者率	<職業別> 上段:実数 下段:%												
	全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
	218	42	13	22	14	21	3	0	17	52	13	21	
99.1	100.0	100.0	100.0	100.0	91.3	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
当該刊閲読かつ保有者率	<性・年代別> 上段:実数 下段:%												
	全体	男性	女性	男性					女性				
	204	101	103	29歳以下	30代	40代	50代	60代	29歳以下	30代	40代	50代	60代
92.7	94.4	91.2	88.2	83.3	100.0	100.0	95.3	85.7	78.6	90.0	95.7	97.1	
当該刊閲読かつ保有者率	<職業別> 上段:実数 下段:%												
	全体	給料事務・研究職	給料労務・作業職	販売・サービス職	経営・管理職	専門職・自由業	商工自営業	農・林・漁業	学生	主婦	その他	無職	
	204	37	11	21	14	18	3	0	16	52	13	19	
92.7	88.1	84.6	95.5	100.0	78.3	100.0	0.0	94.1	100.0	100.0	90.5		

新聞広告J-MONITOR調査

広告接触状況

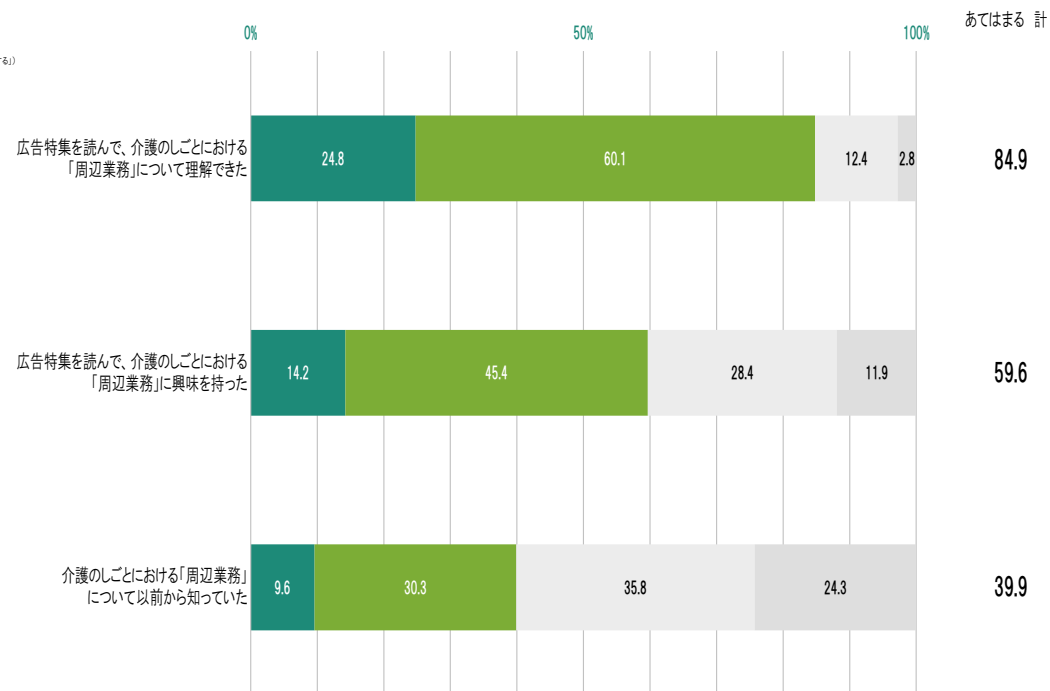
■ 確かに見た、読んだ ■ 見た、読んだような気がする ■ 見た、読んだ覚えがない ■ 当該刊を読んだが新聞を用意できない ■ 当該刊を読んでいない



介護のしごとにおける「周辺業務」について、あてはまるものをお答えください。(単数選択)

全体(n=218)

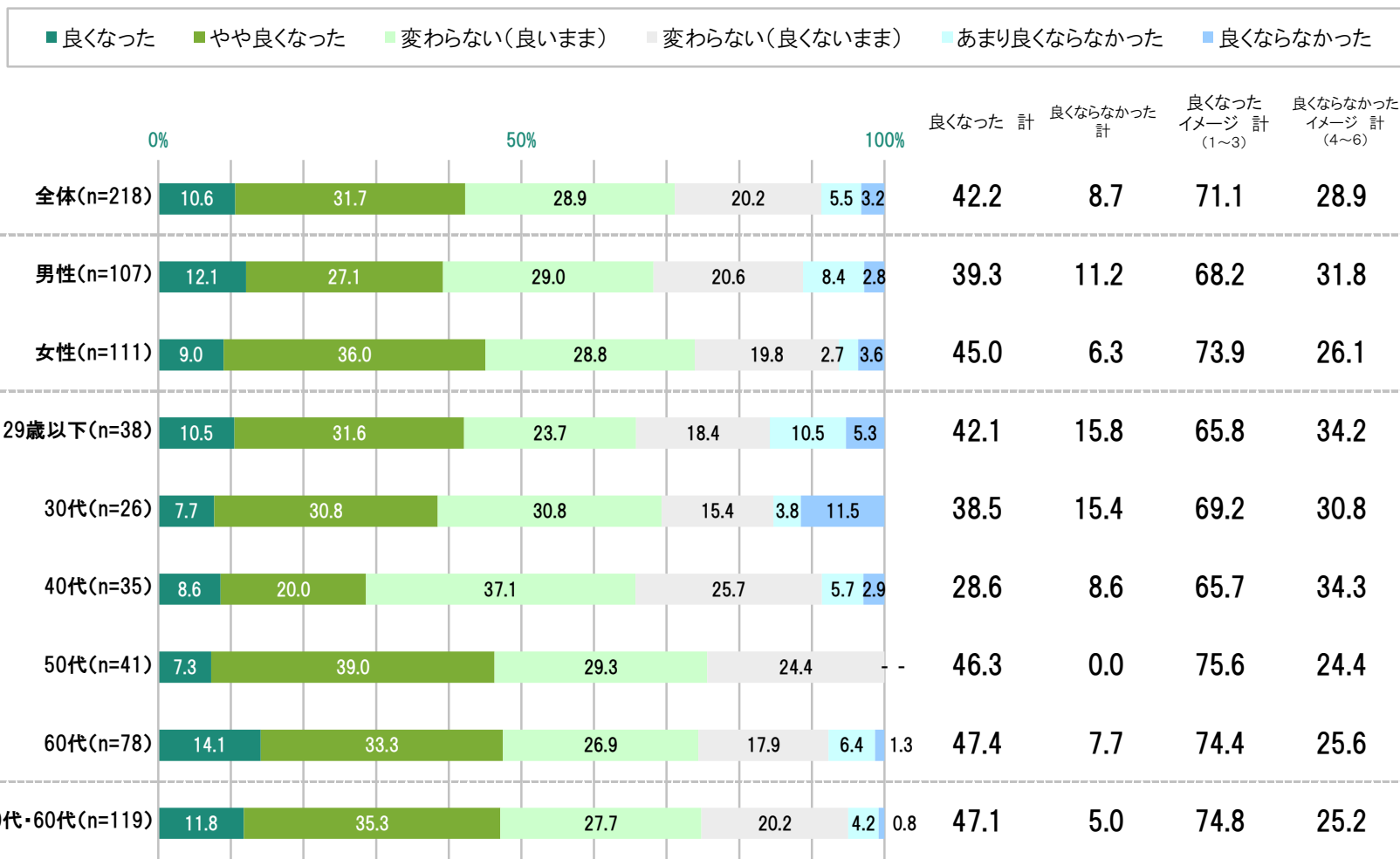
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない



アクティブシニアへの広報

新聞広告J-MONITOR調査

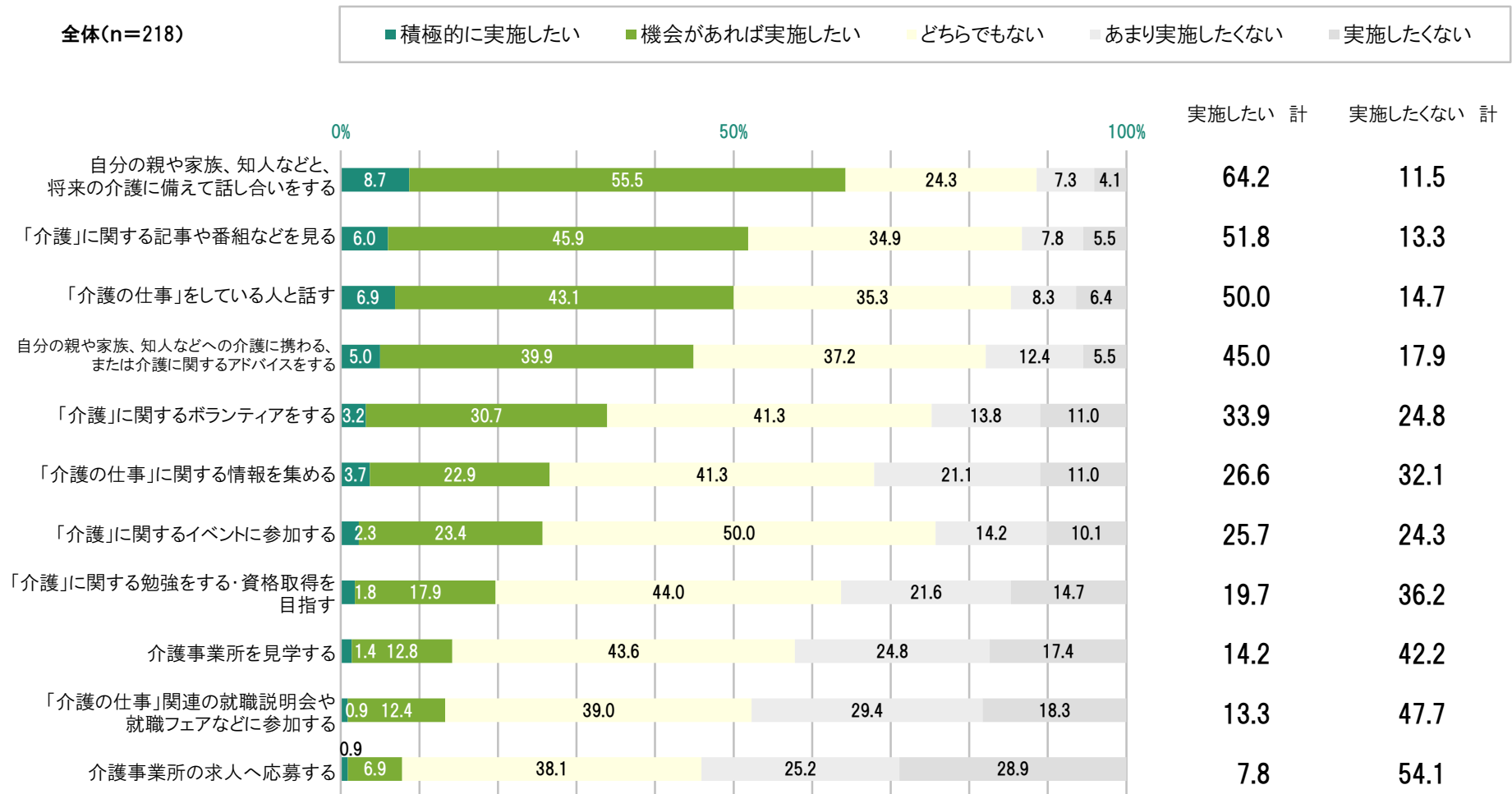
あなたは、今回の紙面をご覧になって「福祉・介護の仕事」に対するイメージに変化はありましたか。（単数選択）



アクティブシニアへの広報

新聞広告J-MONITOR調査

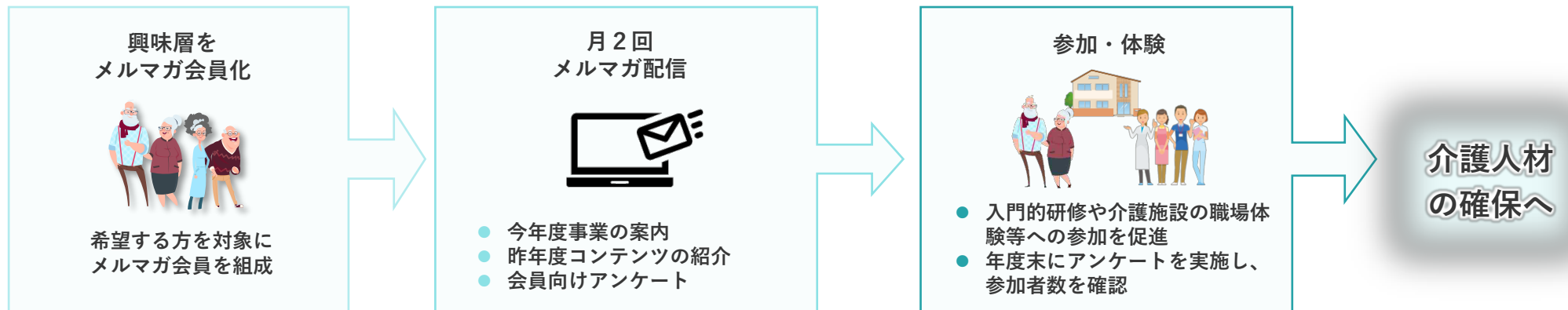
以下の項目について、あなたの今後の行動として、最もあてはまるものをそれぞれ教えてください。（単数選択）



5. メールマガジンの配信

昨年度事業の参加者等にアンケートを実施し、希望する方を対象にメールマガジン会員を組成。未来をつくるkaigoカフェや日本医療企画と連携して福祉・介護にまつわる多角的な情報を8月～3月まで毎月2回配信しました。メルマガを通じて介護の情報に接する機会を増やすことで、リードナーチャリングを行いました。

- メールマガ発行数：全15回
- メールマガ会員数：555人



● メールマガ会員交流会

実施日時：2022年3月9日14:00～15:00

参加者：6名（10代1名、50代1名、60代1名、70代3名）

ゲスト：未来をつくるkaigoカフェ代表 高瀬比左子さん、シニア介護職2名

内容：「これからの働き方」をテーマに、ゲストから介護の仕事の魅力ややりがいについてお話いただき、その後感じたこと等を自由に対話しました。

<参加者の声>

グループホームの支援員をしており、仕事のヒントを得たいと思って参加した（60代男性）

高齢なので介護についての知識を得たいと思って参加（70代男性）

介護職に興味があり、地域の有料老人ホームのボランティアをしている。介護職は偉大だと実感。若者や高校生に現状を知ってほしい。（10代女性）

介護未経験。定年後のセカンドキャリアを検討中。求人情報や資格情報は入ってくるが、入り口としてどのように介護の世界に足を踏み入れていくのがよいのかが見えないのが悩み。（50代男性）

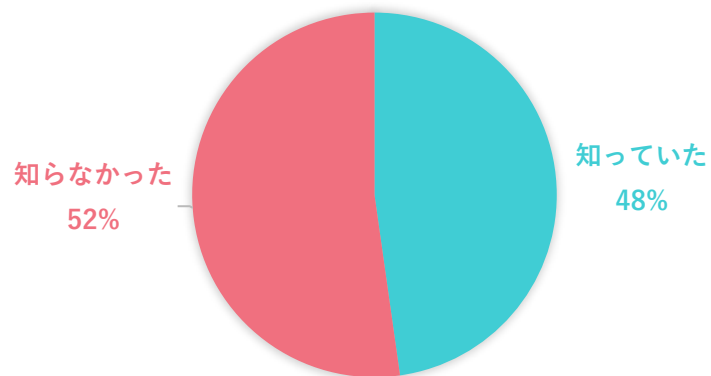


アクティブシニアへの広報

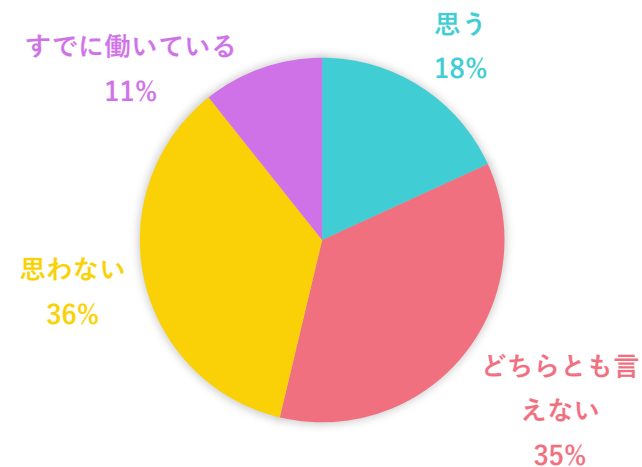
メールマガジン会員向けアンケート（n=402）

※オプトイン取得時（8月）および会員対象（3月）の2回実施。以下は2回の合計数。

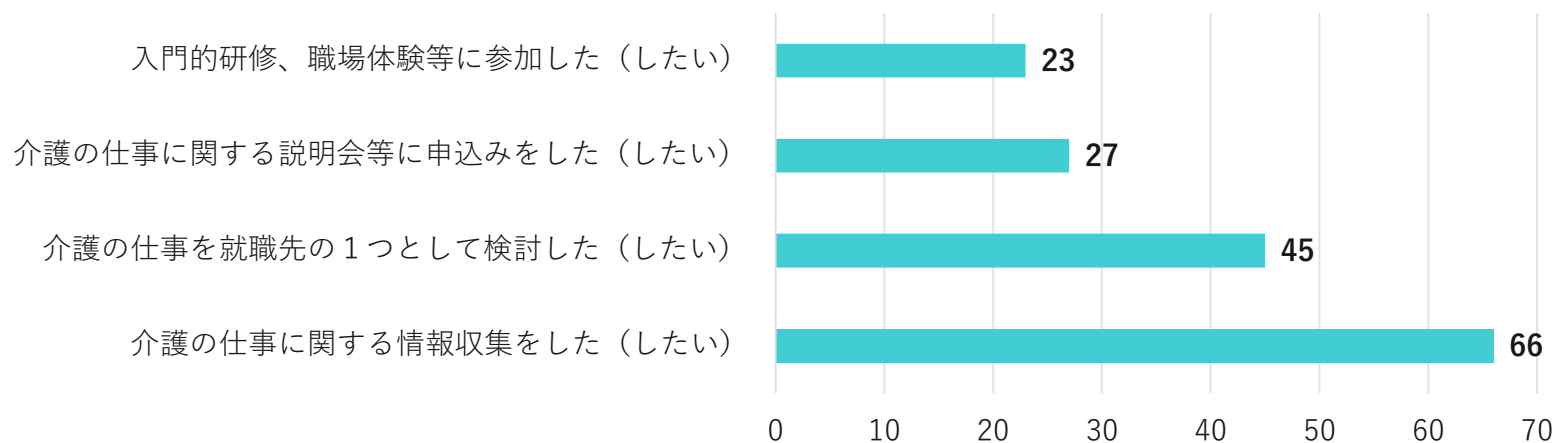
あなたは介護の仕事における「周辺業務」について知っていましたか。



あなたは福祉・介護業界で働いてみたいと思いますか。
（パートタイム、ボランティア活動なども含みます）



あなたは、直近半年で福祉・介護に関することについて、どのような行動をとりましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。



介護事業者等への働きかけ

1. 「なかまある」をハブにしたコンテンツ制作・情報発信

ウェブメディア「なかまある」に介護事業者向けの連載記事「介護の働き方改革」シリーズを掲載。掲載した記事は「ケアマネジメント・オンライン」や「Yahoo! ニュース」「LINE NEWS」「スマートニュース」で外部配信を行い、リーチの拡大を図りました。

<https://nakamaaru.asahi.com/series/11032055>

	記事	なかまある	Yahoo!	LINE	スマート ニュース	ケアマネジ メント・ オンライン
1	仕事を105に切り分け2時間単位のシフト多様な人材が活躍できる職場に転換	11,761	5,208	1	6,366	511
2	コロナ禍で求められる生産性向上と未経験者採用の両立への道	10,702	3,338	35	2,434	1,110
3	施設から半径2キロの人材を掘り起こし「介護」色消した職種導入	10,888	18,453	120	4,367	450
4	マッチングサイトはゲームチェンジャーになれるか	11,205	2,098	23	445	385
5	「預ける施設」から「生活の場」に繰り返される改革プロジェクト	11,005	4,393	27	3,030	752
6	キーワードは「生きがい就労」と「多世代交流」	11,849	4,176	31	634	458
7	ボランティア活用術 モチベーションは「社会とのつながり」	13,742	1,318	7	254	880
8	「健康のために働く」ために自治体がトライアルを支援	13,050	14,311	44	849	955
9	人が集まる大樹会が考えるアシスタント職定着のメソッド	11,550	1,713	36	2,814	950
10	適性やライフスタイルに合わせて働ける職場づくりを提案	10,876	2,888	9	71	755
	合計	116,628	57,896	333	21,264	7,206

※令和4年3月31日時点

介護事業者等への働きかけ

なかまある特設ページ
「これからのKAIGO」



取材を通じて感じた 人手不足の介護の現場に人を引きつける事業者の共通点

- 地域に開かれた施設とし、**地域に潜在する人材にリーチしている**
- 介護事業者側の都合で雇用するという姿勢ではなく、**介護の現場で活躍する人たちの働きやすい形を常に追求し、耳を傾けている**
- **業務の切り分けをし、短時間勤務の間接業務には学生からシニアまで多様な人がかわわり、介護職員の負担軽減につながっている**
- 雇用形態で区別せず、**業務改善をチームで取り組んでいたり、提案を受け付けたりして、それが新たな仕事になるようなマネジメントをしている**
- **リーダーなど若い世代にも、マネジメントやチームビルディングを学んだり、実践したりする機会を提供している**
- **職員が学びや成長を感じられる仕事の仕方、マネジメントをしている**

事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

仕事を105に切り分け2時間単位のシフト
多様な人材が活躍できる職場に転換

2021.11.11公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14468814>



コロナ禍で求められる生産性向上と
未経験者採用の両立への道

2021.11.18公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14481020>



施設から半径2キロの人材を掘り起こし
「介護」色消した職種導入

2021.11.25公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14500964>



事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

マッチングサイトは
ゲームチェンジャーになれるか

2021.12.02公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14487892>

「預ける施設」から「生活の場」に
繰り返される改革プロジェクト

2021.12.09公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14494008>

キーワードは「生きがい就労」と「多世代交流」

2021.12.16公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14500964>



事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

ボランティア活用術
モチベーションは「社会とのつながり」

2021.12.23公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14507998>

「健康のために働く」ために
自治体がトライアルを支援

2022.01.13公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14518121>

人が集まる大樹会が考える
アシスタント職定着のメソッド

2022.01.20公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14521309>



事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

適性やライフスタイルに合わせて働ける
職場づくりを提案

2022.01.31公開
<https://nakamaaru.asahi.com/article/14529203>



外部配信
(スマートニュース)

介護の働き方改革 適性や
ライフスタイルに合わせて働ける
職場づくりを提案



シニア世代にとって働きやすい職場は、若い世代から子育て世代にとっても働きやすかった。全国に介護事業所を展開する株式会社ソラスト(東京)では、介護職員の業務と周辺業務のみを行う介護助手のような職種や業務の切り分けという手法をせずに、多様な世代が活躍できる職場を

外部配信
(LINE NEWS)

なかまある(朝日新聞) LINE NEWS



介護の働き方改革 人が集まる大樹会が考えるアシスタント職定着のメソッド
アクティブシニアでも若い世代でも、人が集まる介護施設の実現に近づいている取り組みが、京都府舞鶴市にある社会福祉法人大樹会で行われています。シリーズ「これからのKAIGO〜『自分ができる』がきっと見つかる〜」の9回目は、世代を超えて働き手を見つけ、離職率が低い介護施設のマネジメントについて、大樹会の理

外部配信
(Yahoo! ニュース)



外部配信
(ケアマネジメント・オンライン)



介護事業者等への働きかけ

事業者団体から会員に向けて発信

公益社団法人
全国老人保健施設協会
National Association of Geriatric Health Care Facilities

お知らせ

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)の特集「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」のご紹介

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業) 実施主体の朝日新聞社より、「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」についてお知らせします。

介護事業所の人材不足感は依然として高いものの、すべての事業所で不足しているわけではありません。朝日新聞社が運営する介護や福祉の専門ウェブメディア「なかまえる」では、「令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)」(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)の一環としてアクティビシアに関する特集記事の掲載を行っております。

本特集では、アクティビシアの活用や多様な働き方を可能にするマネジメント改革に取り組みやすい「介護イノベーター」として取材し、メソッドを語っていただきました。全10回の特集記事となっております。是非ご覧いただけます。

第1回 介護の働き方改革 「仕事を100%に切り分け!経験価値のシフト」多様な人材が活躍できる職場に転換
第2回 介護の働き方改革 コロナ禍で求められる生産性向上と未経験者採用の両立への道
第3回 介護の働き方改革 施設から半独立型の人材を育てて、「介護」色溢した職種へ
第4回 介護の働き方改革 マatchingサイトはゲームチェンジャーになれるか
第5回 介護の働き方改革 「開ける扉」から「生活の場」に 繰り返される改革プロジェクト
第6回 介護の働き方改革 キーワードは「生きがいの場」と「世代交代」
第7回 介護の働き方改革 ボランティアリ活用、モチベーションは「社会とのつながり」

一般社団法人
全国介護付きホーム協会

2022年1月13日 **お知らせ**

「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」のご紹介 (令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業))

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)の実施主体である朝日新聞社より、以下の案内がありましたのでお知らせします。

介護事業所の人材不足感は依然として高いものの、すべての事業所で不足しているわけではありません。

朝日新聞社が運営する介護や福祉の専門ウェブメディア「なかまえる」では、「令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)」(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)の一環としてアクティビシアに関する特集記事の掲載を行っております。

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
Japanese Council of Senior Citizens Welfare Service

お知らせ

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)の特集「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」のご紹介

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)についてのお知らせです。

介護事業所の人材不足感は依然として高いものの、すべての事業所で不足しているわけではありません。朝日新聞社が運営する介護や福祉の専門ウェブメディア「なかまえる」では、「令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)」(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)の一環としてアクティビシアに関する特集記事の掲載を行っております。

本特集では、アクティビシアの活用や多様な働き方を可能にするマネジメント改革に取り組みやすい「介護イノベーター」として取材し、メソッドを語っていただきました。全10回の特集記事となっております。是非ご覧いただけます。

第1回 介護の働き方改革 「仕事を100%に切り分け!経験価値のシフト」多様な人材が活躍できる職場に転換
第2回 介護の働き方改革 コロナ禍で求められる生産性向上と未経験者採用の両立への道
第3回 介護の働き方改革 施設から半独立型の人材を育てて、「介護」色溢した職種へ
第4回 介護の働き方改革 マatchingサイトはゲームチェンジャーになれるか
第5回 介護の働き方改革 「開ける扉」から「生活の場」に 繰り返される改革プロジェクト
第6回 介護の働き方改革 キーワードは「生きがいの場」と「世代交代」
第7回 介護の働き方改革 ボランティアリ活用、モチベーションは「社会とのつながり」

公益社団法人
全国有料老人ホーム協会

お知らせ

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)の特集「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」のご紹介

令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業) 実施主体の朝日新聞社より、「これからのKAIGO～『自分ができる』がきっと見つかる～」についてお知らせします。

介護事業所の人材不足感は依然として高いものの、すべての事業所で不足しているわけではありません。朝日新聞社が運営する介護や福祉の専門ウェブメディア「なかまえる」では、「令和3年度介護のしごと魅力発信等事業(ターゲット別魅力発信事業)」(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)の一環としてアクティビシアに関する特集記事の掲載を行っております。

事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

「介護ビジョン」にダイジェスト版掲載



媒体 : 介護ビジョン2月号
体裁 : 見開き2ページカラー
到達数 : 発行部数40,000

こまねびの部 職員のリラクゼーションスキル

2時間単位の細切れシフト
多世代で多様な働き方

社会福祉法人さくらぎ会
特別養護老人ホームこまねびの郷
(東京都あきる野市)

理事長 宮林大輔さん

施設内の全業務を100%に分類し、業務習熟度や役割ごとに9つのランクに整理しました。これにより1日2時間単位の細切れシフトが可能になり、質の高いケアを提供するための研修システムも構築できました。採用形態では区別を設けていません。また「職員育成プロジェクト」のメンバーが自分の働くフロアの職員を定めています。個々の努力を目に見える形で評価しているため、やる気も引き出す効果があります。結婚出産に伴って働き方の変更を希望する職員もいます。このようにニーズも対応が可能なため、退職者が減り、高い定着率を実現することに繋がっています。

夜間の勤務時給を上げて体力のある若者に任せてもらい、早朝や夕方1キロ以内に住むアクティブシニア層の短時間パート職員の方も借りてこまねびシフトを組んでいく。あらゆる世代の多様な働き方組み合わせることで介護の現場は魅力のある職場に変わっていくはずなんです。

和心 ライフメイトが缺ける可能性

（仮称）ライフメイト（パートタイム）
（仮称）ライフメイト（パートタイム）
（仮称）ライフメイト（パートタイム）

メソッドとインフォの詳細はwebで見ることができます

詳しくはこちら

**「介護」でなく「家事援助」
大学生メイトから正職員**

社会福祉法人ケアネット
特別養護老人ホーム和心
(神奈川県海老名市)

施設長 金子直浩さん

2018年に「ライフメイト」という家事援助を募り行なった。大学生を導入しました。大学生、ダブルワーク、定年後の職員、アクティブシニアといった人材に目を向け、その人たちに働きやすい職場を提供するために現在16人のライフメイトがおり、満足度が高い。

たまたまと辞めるところがありましたが、介護職員から見た賃金も高くなっています。権限分野で力を発揮してもらおうという考えから、各ユニットで働く職員全員で話し合い、ルーティンワークのほか、ライフメイトの性格や得意なことを考慮したうえで仕事を振り分けているので、大学生がアルバイトでライフメイトを始め、介護の仕事に興味を持ち、正職員を希望するケースもできています。

同時に雇用形態や年齢を問わず、ユニットごとに業務改善の提案考え、いく手法を探り入れました。多様な人が活動できる職場づくりが、これからの人材確保の鍵だと思います。

改革の裏側に見えたチームビルディング

介護事業所での人材不足感には、「介護労働実態調査」のうえで2019年度、2020年度は2連続で少す改善傾向に向かっています。離職率は過去最低を更新し、60歳以上の労働者の割合が増加傾向にあります。介護労働者の就業実態と就業意識調査によると、前職を辞めた理由は、「結婚・結婚・出産・育児のため」が25・0%でも多く、次に「職場の人間関係に問題があった」が16・6%、「自分の将来の見込みが立たなくなった」が15・0%です。この中には、前職が介護・福祉・医療の人も多くあり、職場を変えざるを得ない「収入だけではない」ということがわかります。

周辺業務をアクティブシニアに担ってもらって介護助手の制度導入が目指されていますが、今回の取材で見えてきたのは、その裏側で多様な人材が多様な形で働ける職場改革がありました。そのヒントをマネジメント層と職員が「

たため」が16・6%、「自分の将来の見込みが立たなくなった」が15・0%です。この中には、前職が介護・福祉・医療の人も多くあり、職場を変えざるを得ない「収入だけではない」ということがわかります。

周辺業務をアクティブシニアに担ってもらって介護助手の制度導入が目指されていますが、今回の取材で見えてきたのは、その裏側で多様な人材が多様な形で働ける職場改革がありました。そのヒントをマネジメント層と職員が「

労働者の年齢割合

60歳以上の介護労働者が増加傾向

他シリーズで取り上げた施設・団体 (丸数字は回)

- ②全国介護事業者連盟
- ④ Sketter
- ⑤梅書の里
- ⑥東京都健康長寿医療センター研究所
- ⑦カリタス有東
- ⑧健康・いきいきが苑ラボ
- ⑨やすらぎ苑
- ⑩ソラスト

詳しくはこちら

介護事業者等への働きかけ

ケアマネージャーに対するアンケートを実施

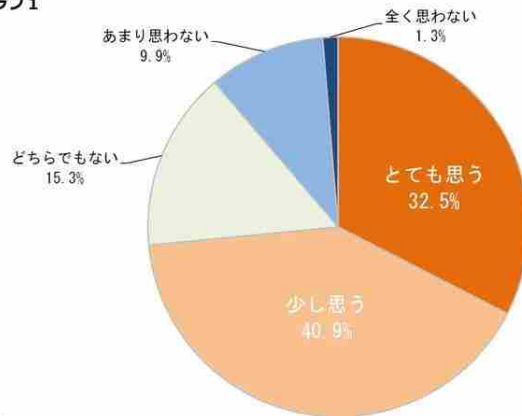
実施期間：令和4年3月3日（木）～8日（火）

実施方法：インターネット調査

回答者数：756人

介護の仕事をしたことがないアクティブシニアが、在宅介護の現場や特別養護老人ホームなどの介護保険施設で働くことができるか

グラフ1

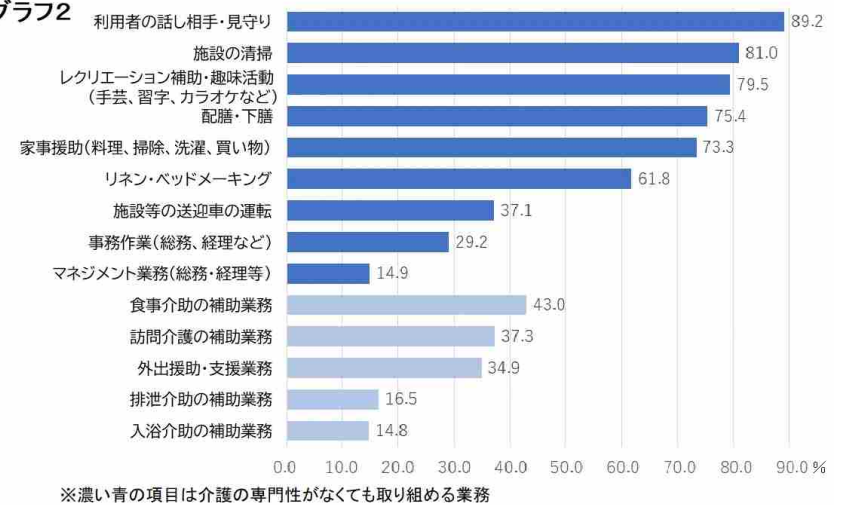


介護分野の仕事に向いていると思うアクティブシニアの特徴

- 明るく前向きで、チャレンジ精神が旺盛な方（居宅介護支援事業所勤務、東京）
- 井戸端会議ができる方。柔軟性のある方（有料老人ホーム勤務、神奈川）
- 利用者に寄り添う気持ちが必須。アンガーマネジメントができる方（居宅介護支援事業所勤務、北海道）
- 人間性があり、傾聴出来る人（グループホーム勤務、岡山）
- 趣味があったり、書道や生け花など特技的な資格を持っていたりする方（居宅介護支援事業所、埼玉）

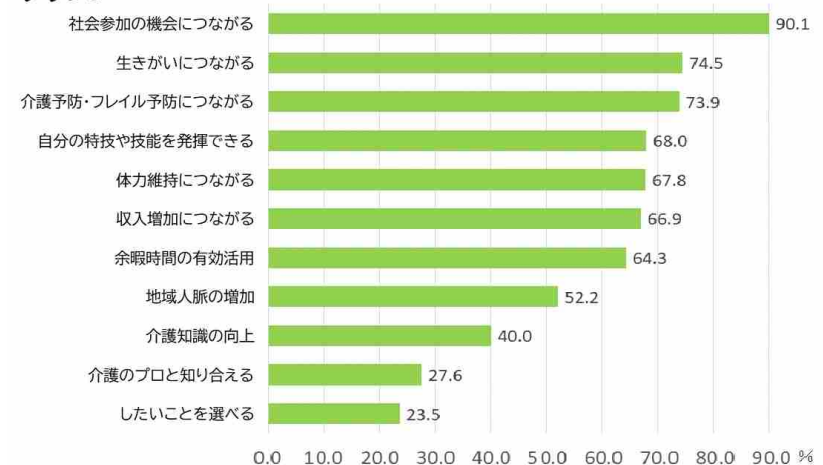
アクティブシニアに期待すること

グラフ2



アクティブシニアが介護の現場で働くメリット

グラフ3



事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

アンケート結果を配信

ケアマネジメント・オンライン

<https://www.caremanagement.jp/news/detail/21528>

Reライフ.net

<https://www.asahi.com/relife/article/14575904>

ケアマネジメント・オンライン

ケアマネが考える「元気高齢者が活躍できる介護の仕事」とは？

記事内容の要約:
認知症高齢者に対応するため、専門職をサポートする「介護助手」や「介護補助」の確保に本業を人財不足に悩まされています。その解決策として特に期待されているのが、元気で高齢者（アクティブシニア）です。そこでケアマネジメント・オンラインは毎日新聞社と共同で、ケアマネジャーが考える「アクティブシニアが活躍できる介護の仕事」について、調査を行いました。

調査結果の概要:
「認知症の介護」(81.0%)や「食事補助」(77.2%)、「配膳・下膳」(75.4%)など、日常時に必要な業務に高い関心度を示すことがわかりました。また、介護現場で活躍できる人材の確保や、高齢者の生活の質の向上に貢献できる業務に高い関心度を示すことがわかりました。

アクティブシニアが活躍できる介護の仕事

記事内容の要約:
介護の仕事は多岐にわたります。アクティブシニアが活躍できる仕事は、「認知症の介護」や「食事補助」など、日常時に必要な業務に高い関心度を示すことがわかりました。また、介護現場で活躍できる人材の確保や、高齢者の生活の質の向上に貢献できる業務に高い関心度を示すことがわかりました。

調査結果の概要:
「認知症の介護」(81.0%)や「食事補助」(77.2%)、「配膳・下膳」(75.4%)など、日常時に必要な業務に高い関心度を示すことがわかりました。また、介護現場で活躍できる人材の確保や、高齢者の生活の質の向上に貢献できる業務に高い関心度を示すことがわかりました。

介護現場で活躍できる人材の確保

記事内容の要約:
介護現場で活躍できる人材の確保は、介護事業者にとって重要な課題です。その解決策として、元気で高齢者（アクティブシニア）の活用が注目されています。この記事では、介護現場で活躍できる人材の確保に関する調査結果を詳しく紹介します。

調査結果の概要:
「認知症の介護」(81.0%)や「食事補助」(77.2%)、「配膳・下膳」(75.4%)など、日常時に必要な業務に高い関心度を示すことがわかりました。また、介護現場で活躍できる人材の確保や、高齢者の生活の質の向上に貢献できる業務に高い関心度を示すことがわかりました。

介護事業者等への働きかけ

2. 介護事業者向けセミナーの開催

タイトル：「多様な世代が安心して働ける職場をつくるには」～アクティブシニアの活躍から学ぶ～

主催：未来をつくるkaigoカフェ

共催：なかまある編集部

司会進行：未来をつくるkaigoカフェ代表 高瀬 比左子氏

実施日時：令和4年2月25日20:00～21:30

開催形態：ZOOMを用いたオンラインウェビナー

企画趣旨：

シニアが安心して働ける職場は、誰もが安心して働ける職場であり、多様な世代が働きやすい職場づくりと共通している。若手人材の採用に積極的な事業者は、シニアの雇用にも力を入れている傾向があることから、人材採用のあり方や業務の切り分け、人材育成、定着に関わること等、3名のゲストの話とトークセッションからヒントを与え、シニアの積極的な採用を促進する。

主な対象者：

アクティブシニアの雇用、多様な世代の雇用に関心のある介護事業経営者、管理者、リーダー層、介護やケアに関わる専門職等

参加人数：最大129名

出演者：

- ・大誠会 内田病院 介護統括部 統括介護部長 黒木勝紀氏
- ・社会福祉法人小田原福祉会 理事 特別養護老人ホーム 潤生園 施設長 井口健一郎氏
- ・和が家グループ代表 直井誠氏



事業全体の経過 介護事業者等への働きかけ

問題となっている人材難の課題

高齢者の負担を小さくする！

14人 20人 12人 54人

外から入ってきてもらおう！ 働く人の生産性を上げる！ 元気な高齢者を支える側に回ってもらおう！

娘が就職しました！

娘が就職しました！

息子から紹介されました！

冬場だけ仕事します！

妹を紹介しました！

朝と夕方来ます！

京都から転居してきました

息子夫婦も働いてます！

シニアスタッフの活躍（60代）

- 63歳女性
- 入社11年目
- 前職：損害保険事務職
- 現在：常勤介護職
- 今の所、メインの介護職として勤務し、活躍してくれている。
- 送迎・入浴・レク・調理・介助全てこなす
- まだ気力・体力ともに維持している。

- 63歳女性
- 入社5年目
- 前職：介護職
- 現在：非常勤介護職
- 週3回、フルタイム勤務
- 入浴・レク・調理・介助こなしている
- 親の介護中であり、不安定な状況。

シニア社員のメリット・デメリット

メリット	デメリット
○子育てが終わり、時間に融通が効く	●体力・気力・知力・継続力・注意力が低下気味
○人生経験があり、高齢者の気持ちがわかる	●考えが凝り固まってくる（融通は効きづらい）
○昭和の昔の習慣を知っている	●柔軟性が求められる仕事が多い
○懐が深い方も多く、若手をカバーできる	●長時間勤務は難しくなってくる
○地域のつながりが多い	●理想の自分と現実の自分のギャップが出がち

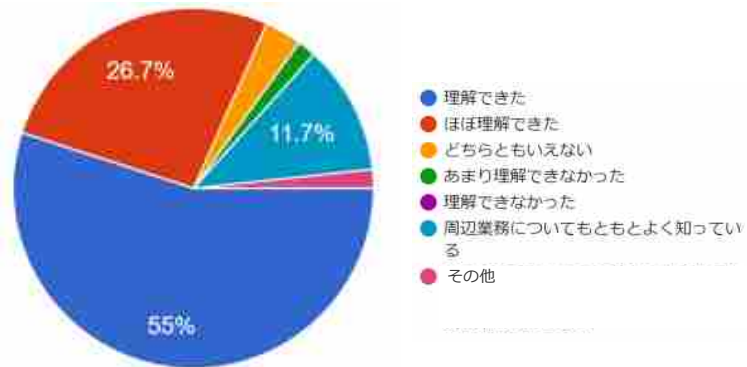
・時間制限のある子育て中のママの午後の引継ぎ役として必要不可欠。
 ・短時間で体力的に無理が無いように勤務する。
 ・無理強いをしない（×もう少し働いて、送迎して、レクを考えてくれ、介助して）
 ・メイン介護職としてではなく、介護サポート職として働く。
 ・既定の業務があると続きやすい。指示してあげると動きやすい。
 ・もし予定通り出来ていなくても、ドンマイの精神で。
 ・他スタッフにもサポート職であることを周知し、期待しすぎない。
 ・失業者男性で、異業種転職者の場合は特に注意が必要。

シニアスタッフを採用することで組織の多様性が試される。ただし、成功も失敗もあるので、ポイントをおさえる

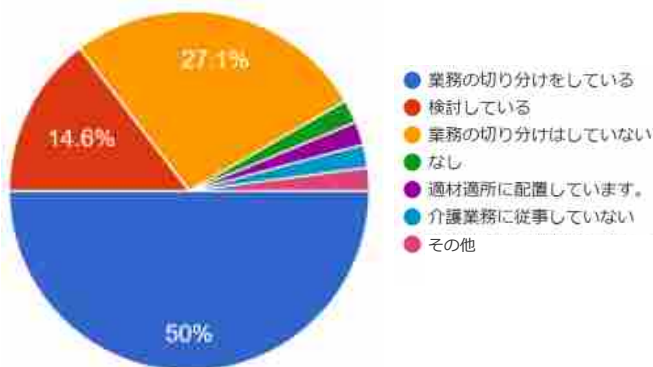
介護事業者等への働きかけ

アンケート結果

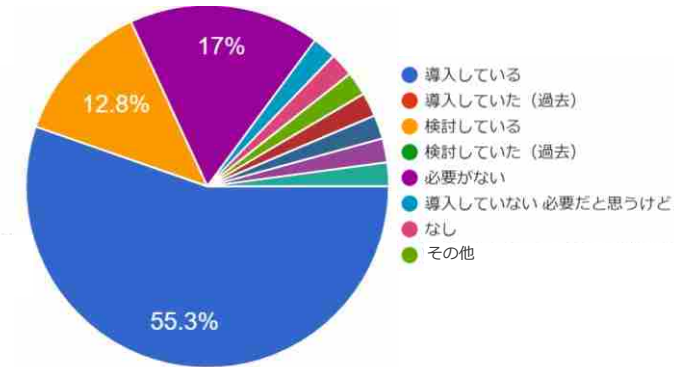
あなたはイベントを通して「周辺業務」を十分に理解できましたか。(回答数60)



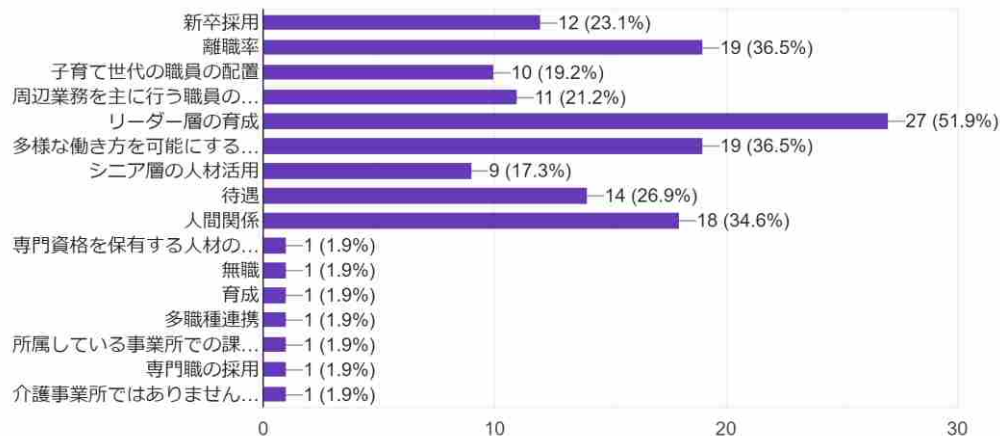
あなたの介護事業所では、業務の切り分け（ここでは主に介護職が行う業務と介護職でなくてもできる業務のこと）をしていますか。(回答数48)



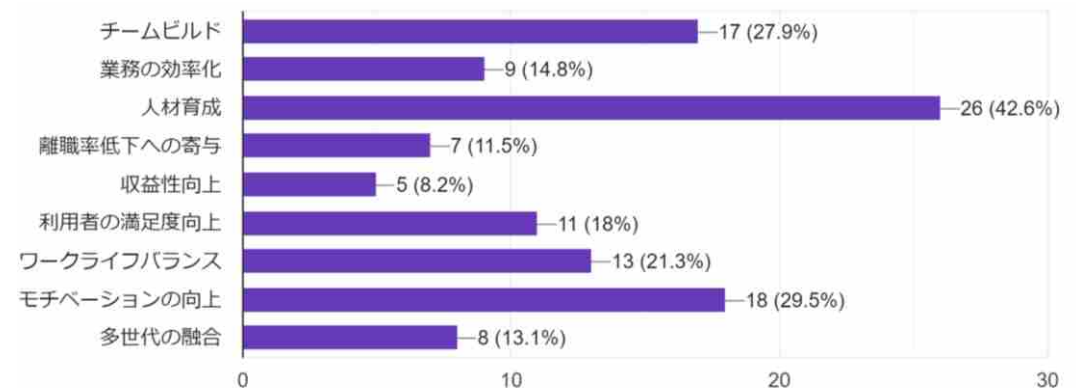
あなたの介護事業所では、「介護助手」など、いわゆる周辺業務を主に担ってもらう職種を導入していますか。(回答数47)



あなたの介護事業所では、人材に関してどのような課題を抱えていますか。(複数回答)



業務改善で最も重要だと思うポイントを1つお選びください。(回答数61)



アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

1. 朝日カルチャーセンターオンライン講座

介護の仕事への関心が高まったアクティブシニアに対して、入門的研修や職場体験へのあと一歩を促すガイダンス講座を朝日カルチャーセンターにてオンラインで実施しました。

【朝日カルチャーセンターオンライン講座 概要】

講座名：「自分にできる」がきっと見つかる！はじめての介護のしごと講座

内 容：入門的研修や職場体験への参加を促すための「ガイダンス」となる講座を開催。
自分の住んでいる地域に根差した具体的な情報を得ることにより、受講者自身が介護助手等として働く姿をイメージできるようにする。

開催日：第1回 2月28日（月）（神奈川県向け）
第2回 3月2日（水）（東京都向け）
第3回 3月8日（火）（千葉県向け）

プログラム：第1部 14:00～14:40 <介護のしごとガイダンス>
社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム 森 幸夫 さん（3回共通）
第2部 14:40～15:10 <地域の介護施設から>
東京：アゼリーグループ 社会福祉法人江寿会 福原聡一郎さん
神奈川：社会福祉法人小田原福祉会 井口 健一郎さん
千葉：グッドタイムリビング株式会社 立崎直樹さん
第3部 15:10～15:30 <介護のしごと相談会>

司 会：駒村多恵さん（2/28、3/8）、富岡史穂さん（3/2）

人 数：第1回 51名
第2回 35名
第3回 40名 計126名 ※目標30～50名×3回＝計90～150名

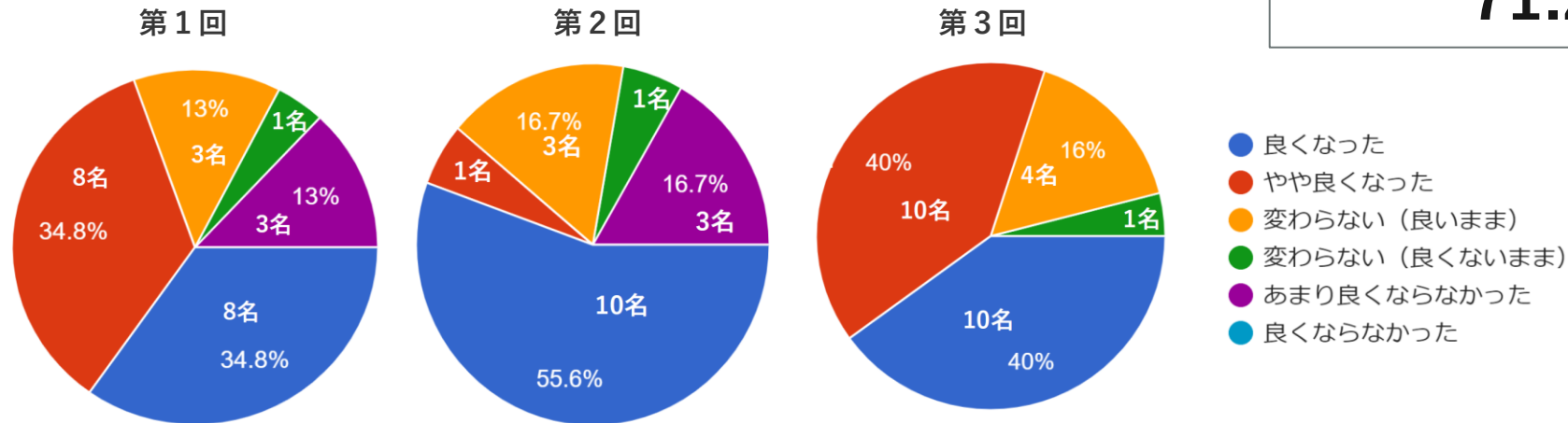


アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

アンケート結果 (n=66 ※3回計)

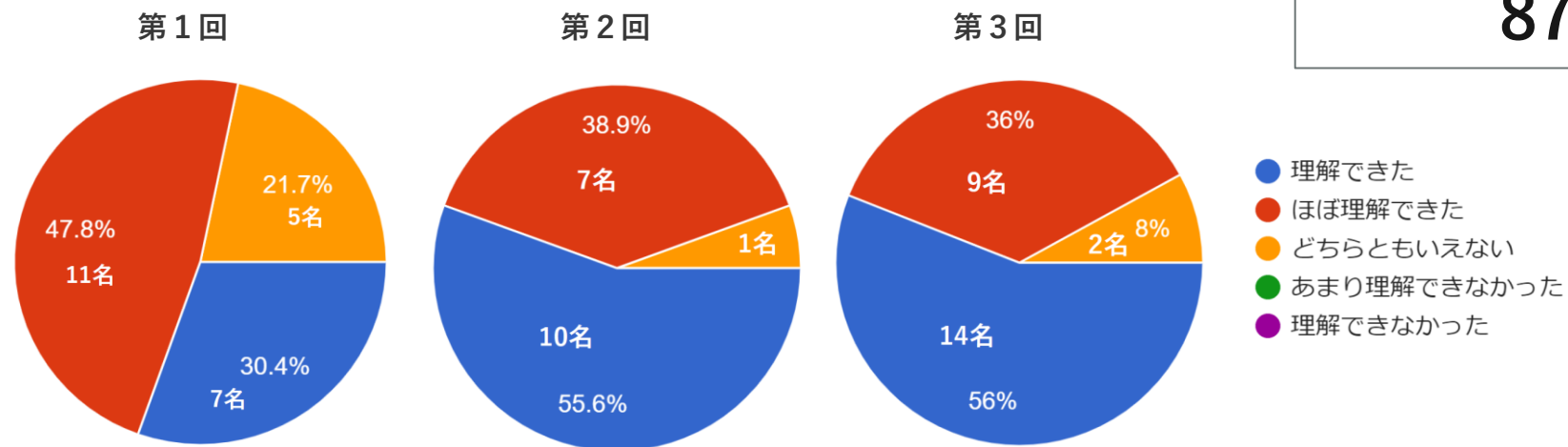
今回のプログラムをご覧になって「介護の仕事」に対するイメージに変化はありましたか。

「良くなった」 + 「やや良くなった」が
71.2%



あなたはイベントを通して、「介護の周辺業務」を十分に理解できましたか。

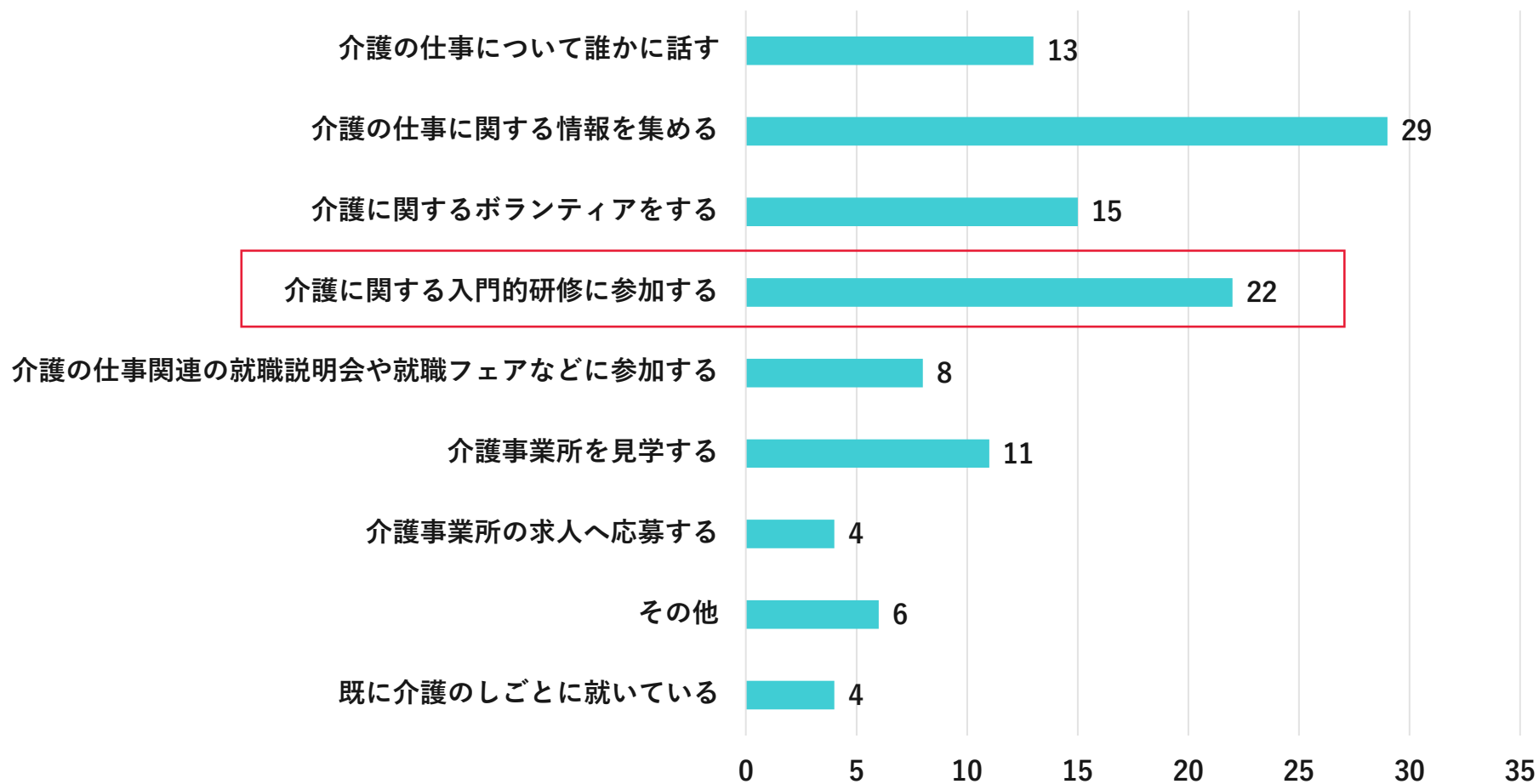
「理解できた」 + 「ほぼ理解できた」が
87.8%



アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

アンケート結果 (n=66 ※3回計)

下記項目について、あなたの今後の行動として、あてはまるものをすべて教えてください。(複数回答可)



アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

アンケート結果

<プログラム全体を通じた感想（原文まま）>

- 高齢者の方も介護・福祉の仕事が続いていることを知り、今後の自分の可能性が広がったように感じました。
- 人のため、また自分のためにも役に立つことだと思いました。神奈川県では入門研修は参加枠が少ないように感じましたので、初任者研修受講も考えていきたいと思います。本日は具体的なお話で理解しやすく感じました。ありがとうございました。
- 60代以上の年齢の方（70代や80代の方）でもこれほど多くの方が周辺業務を含めてそれぞれができることの範囲で働いているという事に驚きました。**自分自身もまだこれから参加できるようなことが何かあるのではないかと**というような関心を持つことができました。
- 介護の仕事のハードルが下がった。年齢を重ねてもできることがあると希望が持てた。
- いずれ介護をする、あるいは介護をされる立場になる。画面で見たレクリエーション等も生きていく上で必要な事と、今更ながら気づいた。そういった諸所の事も知りたいと思う。入門的研修を受ければ直接的な介護以外の部分も概略説明があるのだろうか？
- 講師の方の語り口調が優しくてわかりやすかったです。**地域で何かできることがないか探してみよう**と思いました。
- 介護福祉士の資格を取りたいと思っていますが、時間と費用の関係で今すぐには、という感じですが、ヘルパーとしての就労も可能かと思い、大変勉強になりました。資格を取っても、周辺業務だけでも出来る施設もある、などが分かり良かったです。
- **全くの素人にも分かりやすく、かつ介護現場が身近に感じられる配慮が感じられた。**
- 本日は丁寧なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。自分はヘルパー2級の資格を取って、短期間ではありますが、介護の仕事をしました。でも、その時は認知症の一人暮らしの方への訪問介護の仕事に慣れず、挫折。今でもその負い目が頭をよぎります。今度は介護の仕事を長く続けられるような働き方ができないものか。それは自分の受け止め方かもしれないですね。また、今回、**お話を聞いてみて、以前とは介護の世界もよい方向に変化しているような気がしました。**
- しごとの情報に偏り、縁遠い感じがしました。
- ボランティアと仕事の線引きがわかりにくかった。



▶ 講座の様子

アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

2. 「50代からの働き方発見EXPO2022」への出展

アクティブシニアの中でもより入職の可能性が高い「定年後も働く意欲のある」方が集まる就職展示会「50代からの働き方発見EXPO2022」に出展し、会場内で「退職後の選択肢として介護の仕事の可能性」をテーマにセミナーを行いました。ブースでは個別相談を実施し、2日間で40名が相談に訪れました。

【開催概要】

名称：50代からの働き方発見EXPO2022
会期：2022年3月25日（金）12:00～19:00
3月26日（土）10:00～17:00
会場：東京都立産業貿易センター浜松町館
来場者：50代以上の転職・再就職希望者
主催：50代からの働き方発見EXPO実行委員会
特別協力：株式会社マイナビミドルシニア
来場者数：1,872名/2日
相談者数：**40名/2日**

※目標数50名（相談時間約15分と想定）でしたが、実際は約30分お話されていく方が多かったです。

【セミナー概要】

実施日：3月25日（金）15:30-16:00
講師：和が家グループ代表直井誠さん
題名：新たな生きがいの発見～介護の仕事とその魅力～
内容：自身のキャリア、シニア介護職の活躍、キャリアパス、介護の仕事の魅力を紹介

【実施内容】

- ・セミナー
- ・ブースでの個別相談
- ・ブースでのアンケート
- ・会場でのチラシ配布
- ・短編動画▶️放映したチラシ

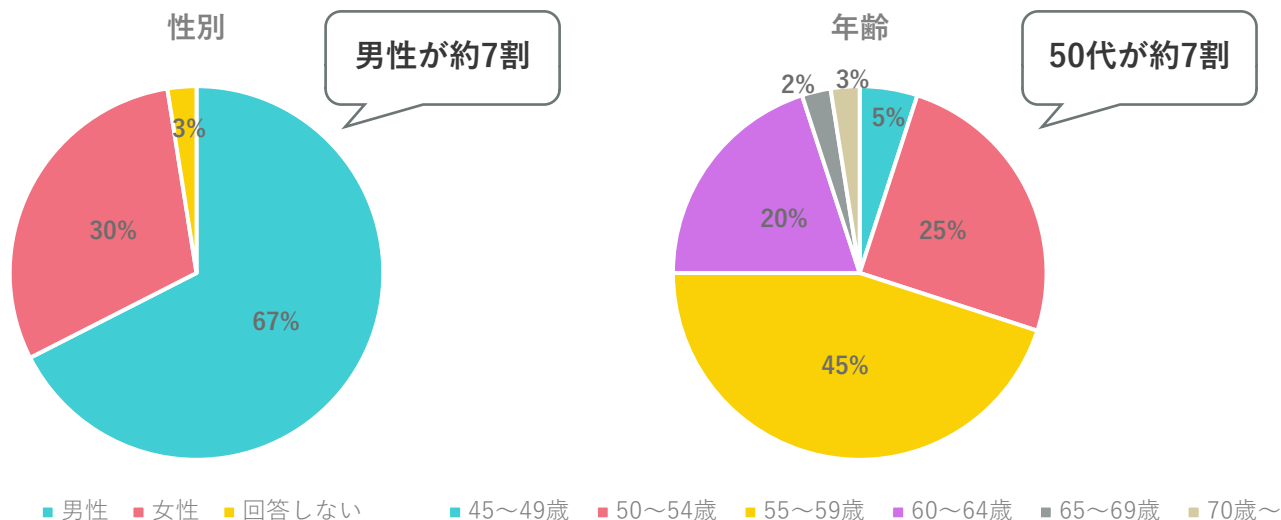


▼会場、セミナー、ブースの様子



アクティブシニアと介護事業者等のマッチング

ブース相談者の属性



福祉・介護分野の保有資格

- ・介護職員初任者研修 1名
- ・社会福祉士 2名
- ・介護支援専門員 1名
- ・介護福祉士 2名
- ・福祉用具相談専門員 1名

<相談内容>

- ・男性：歯科医師。60歳で引退した。今後は社会貢献のために高齢者施設などでお口の状態をみたり、歯の磨き方を伝えたりしながら歯医者に通うきっかけづくりがしたい。
- ・男性：イベント関係の仕事をしている。介護には興味があるが、「つらい」というイメージもあり、**実際はどうなのか知りたい。**
- ・女性：家族介護経験。3月に退職予定。**今後は人のために何かしたい。**近所の公園で高齢者と散歩している姿をみて興味を持った
- ・男性：メルマガ交流会参加者。施設でのボランティア活動にも参加。自分の介護の予習や老後資金の不安をなくすことが目的。長く続けられて身近な仕事ということで介護に興味を持った。キャリアアップまでは考えていない。
- ・男性：これまで介護とは関係ない仕事だったが、身体介護以外の仕事があることを知らなかったので、一般的な話を聞いてみたい。
- ・男性：介護に関心がある。この先の人生はお金儲けには興味はない。**介護の本を買って読んだが資格の話ばかり。若い人向けと感じていたので、ブースで話を聞いてみて具体的なイメージができた。**
- ・男性：定年が延長になったが、そろそろ地元に戻りたい。地元で仕事を探したら介護の仕事を見つけた。しかし未経験で全然知らないなので話を聞いてみたい。
- ・男性：先日退職者セミナーを受けて、介護の仕事に関心を持った。
- ・女性：昔ヘルパー2級をとったが使っていない。53歳になり、この年で何から一歩踏み出せばよいか分からない。



評価分析の手法

評価分析の手法

1. 到達目標の検証

新聞	Reライフ FESTIVAL	ウェブサイト	メルマガ配信	事業者向け 雑誌・ウェブ	50代からの働き方発見EXPO	朝日カルチャーセンター講座	介護事業者向け セミナー
			 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の案内 ・コンテンツ紹介 ・アンケート ・地域情報の紹介 など 			 <p>朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾</p> <p>入門的研修等 ガイダンス講座 (全3か所)</p>	 <p>アクティブシニア 活躍介護事業者の セミナー (オンライン)</p>
<p>5,160,355部×閲読 2.1人×2回= <u>21,673,490人</u></p>	<p>当日視聴 ※リアルの場合 250人×2回=500人 アーカイブ視聴 5万回×2回= 10万回再生想定</p>	<p>新規記事10本×2万 PV=20万PV</p>	<p>登録人数 約1,000人想定</p>	<p>介護ビジョン 40,000部 ケアマネジメントオンライン 3000PV×5本= 15,000PV想定</p>	<p>ブース来場者 300人/2日 個別相談数 20人/2日</p>	<p>参加者数 30~50人×3回 =90~150人</p>	<p>参加者数 50人想定</p>
<p><u>21,673,490人</u></p>	<p>再生回数 秋4,500回 春4,283回 YouTube再生回数 秋193,610回 春108,908回</p>	<p>Reライフ.net 157,474PV なかまある 196,121PV</p>	<p>登録人数 <u>555人</u></p>	<p>介護ビジョン 40,000部 ケアマネジメントオンライン 7,206PV</p>	<p>個別相談数 <u>40名/2日</u></p>	<p><u>126名参加</u> (3回計)</p>	<p><u>129名参加</u></p>

※上段は目標値、下段は実施結果。令和4年3月31日時点。

事業全体で約2,238万人の到達規模となりました。

評価分析の手法

2. KPI達成状況の検証

● 周辺業務の理解促進

定義 : 周辺業務を理解したか
方法 : 新聞広告J-MONITOR調査
目標値 : 周辺業務を理解できた 84.0以上
 : 周辺業務に興味を持った 56.6以上
結果 : 11/11朝刊
 : 周辺業務を理解できた **84.9**
 : 周辺業務に興味を持った **59.6**
 : 3/27朝刊
 : 周辺業務を理解できた **78.2**
 : 周辺業務に興味を持った **57.8**

● 意識変容

- ① ウェブコンテンツの接触／非接触者の意識の比較
定義 : 福祉・介護の仕事への興味・関心の有無、
 : イメージ変化や意識変容
方法 : 楽天インサイトブランドリフト調査
目標値 : 介護の仕事に興味を持つ人の割合が
 : 非接触者より10pt以上高い
結果 : 接触前5pt→接触後13pt **8pt**上昇
- ② イベント参加によるイメージの向上
定義 : 福祉・介護の仕事への興味・関心の有無、
 : イメージ変化や意識変容
方法 : 各種イベントにおけるアンケート
目標値 : イベントを通じて介護のイメージが良くなった
 : と回答した割合が回答者の60%以上
結果 : Reライフフェスティバル2021秋 **60.0%**
 : Reライフフェスティバル2022春 **69.6%**
 : 朝日カルチャーセンター講座 **71.2%** (3回平均)

評価分析の手法

2. KPI達成状況の検証

● 行動変容

①福祉・介護の仕事に関する情報への接触頻度の増加

定義 : 福祉・介護の仕事を検討したか

方法 : メルマガ会員数

目標値 : 1000人

結果 : **555人**

②メールマガジンによる行動変容

定義 : 福祉・介護の仕事を検討したか

方法 : メルマガ会員へのアンケート

目標値 : 検討した 600人

情報収集した 400人

説明会等に申込をした 200人

結果 : 検討した **45人**

情報収集した **66人**

説明会等に申込をした **27人**

③イベント参加による行動変容

定義 : 福祉・介護の仕事を検討したか

方法 : 各種イベントにおけるアンケート

目標値 : 入門的研修の参加数 100人

結果 : **45人** (参加予定も含む)

※朝日カルチャーセンター講座アンケートおよび
メルマガアンケートの合算

● 参加・体験者数

①朝日カルチャーセンター講座

定義 : 福祉・介護の仕事に就くために具体的に行動したか

方法 : 受講者数

目標値 : 90~150人 (3回計)

結果 : **126人** (3回計)

②50代からの働き方発見EXPO

定義 : 福祉・介護の仕事に就くために具体的に行動したか

方法 : 個別相談数

目標値 : 50人 (2日計)

結果 : **40人** (2日計)


③入門的研修や職場体験の参加者数

定義 : 福祉・介護の仕事に就くために具体的に行動したか

方法 : 各種イベントにおけるアンケート

目標値 : 100人

結果 : **45人**



事業対象者の介護に対する意識変容などの 事業効果

事業効果

本事業ではアクティブシニアへの広報、介護事業者への働きかけ、アクティブシニアと介護事業者等のマッチングを3本柱に事業を実施した。

昨年度事業で周辺業務という業務区分の概念を提示することが介護の仕事の就業意向向上に寄与することが分かったため、周辺業務の認知度を高めるための施策を実施した。ウェブメディアを通じた情報発信では、コンテンツ接触者は非接触者に比べて周辺業務の認知が接触者**45.0%**、非接触者**23.0%**と**20%**以上上回り、特に女性では**52.3%**となるなど、周辺業務の認知向上に大きく貢献したと言える。

各イベントにおけるアンケートの自由回答では「以前とは（異なり）介護の世界もよい方向に変化しているような気がしました」「自分自身もまだこれから参加できるようなことが何かあるのではないかというような関心を持つことができました」「頑張っておられる同じシニア世代の方々の写真や言葉に触発されて長年の夢を実現しようと介護初任者研修を受けました」など、介護の仕事に対する興味関心、イメージの向上に繋がったという声が多数寄せられ、一定の成果があったと考える。

また、本事業ではメディアを通じた情報発信だけではなく、ターゲットの声を直接聞く機会を設けたことで、「介護の本を買って読んだが資格の話ばかり。若い人向けと感じていた」「この歳で何から一歩踏み出せばよいか分からない」「求人情報や資格情報は入ってくるが、入り口としてどのように介護の世界に足を踏み入れていけばよいかが見えないのが悩み」など、ターゲットの悩みやニーズを探ることができた。

一方で、刈り取り型の施策が多かったため、イベント集客等に苦戦することがあった。その分介護の仕事に関心の高い層に参加いただくことができたが、実際に入職するまでには、情報の接触頻度を高め、様々なきっかけを作って後押しを行っていくことが必要だと感じている。

本事業において作成したPR記事等コンテンツおよび入門的研修啓発動画は国民が誰でもアクセス可能なウェブ上で無償で公開を行っており、今後の自治体等の施策に活用いただきたい。